

Napre

NAKANISHI COMMUNITY PRESS

2

February
2015

Vol.78

学校法人 中西学園

名古屋外国語大学・大学院
名古屋学芸大学・大学院
名古屋学芸大学短期大学部
名古屋ファッション専門学校
名古屋総合デザイン専門学校
名古屋栄養専門学校
名古屋製菓専門学校
菱野幼稚園



CONTENTS

学芸大ヒューマンケア学部創設10周年企画	1	コラム「わが町日進」	34
TOPICS	7	外大だより	35
井形学長特別寄稿「夢の長寿社会」	12	学芸大だより	38
国際交流	13	短大だより	45
キャリア・サポート	17	第19回合同祭	48
保健管理センターだより	22	NSCだより	51
私の職場紹介	23	菱野幼稚園だより	55
オープンキャンパス	25	マスコミで見る学園各校の出来事	57
2015年度入試のポイント	29	法人だより	58
図書館・MLCからのお知らせ	31	学園カレンダー	裏表紙





名古屋学芸大学ヒューマンケア学部 創設10周年企画

「現在の子どもに欠落しているもの — 社会力をどう育むか —」

・ 門脇厚司先生に聞く

時代と地域のニーズに応え、実践的で多彩な能力を持つ「子どものスペシャリスト」を数多く輩出してきた名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科。関係者および地域の皆様の支え、そしてOBや教職員、学生たちの活躍もあり、2014年度で創設10周年を迎えることができました。しかしこの10年、子どもを取り巻く環境は、決して喜ばしいものばかりではありませんでした。児童虐待や引きこもりの増加、子どもを育む家庭に影を落とす不透明な経済情勢など、これらを乗り越え、子どもの健全な成長を支援するために私たちに課せられた使命はまだ山積しているといえます。

そこで、現在の子どもをもっと理解し、教育活動に生かしていくために、茨城県美浦村教育委員会教育長(筑波大学名誉教授)の門脇厚司先生をお招きし、提唱されている「社会力」の重要性についてお話を伺いました。テーマは「現在の子どもに欠落しているもの—社会力をどう育むか—」。聞き手は、釜賀雅史学科長と安井克彦教職課程教授です。



門脇厚司先生プロフィール

現職 茨城県美浦村教育委員会教育長(筑波大学名誉教授/筑波学院大学名誉教授)。
世間一般にいう「社会性」とは異なり、人と人がつながって社会を作っていく力「社会力」を提唱。「社会力を育てよう」などをテーマに各地で講演活動を行っている。

■ 略歴
1940年 中国青島生まれ、山形県出身
1970年 東京教育大学大学院博士課程修了 教育社会学専攻
以後、淑徳大学講師、日本経済新聞社(企画調査部)、
東京教育大学助教授、
筑波大学教授(人間学系長、教育学系長)等を歴任。
2004年4月~2008年3月 筑波学院大学学長
2010年10月~ 茨城県美浦村教育委員会教育長

■ 主な著書
『子どもの社会力』(岩波新書)
『社会力を育てる』(岩波新書)
『学校の社会力』(朝日選書)
『親と子の社会力』(朝日選書)
『大人の条件:社会力を問う』(岩波書店)
『社会力(いきるちから)が危ない』(学習研究社)
『子供と若者の<異界>』(東洋館出版社) ほかも多数



釜賀雅史 教授

名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部
子どもケア学科教授・学科長

■ 略歴
1988年 早稲田大学大学院商学研究科博士課程後期修了
1997年 愛知女子短期大学(現名古屋学芸大学短期大学部)
経営学科助教授
2000年 同経営学科教授
2005年 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授、
名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科
学科長(兼務)
2009年 名古屋学芸大学教務部長(兼務)
2013年 名古屋学芸大学大学院子どもケア研究科教授

■ 主な著書
『文化現象としての経済』(学術図書出版)
編著『現代日本の企業・経済・社会』(学文社)など



安井克彦 教授

名古屋学芸大学
教職課程教授

■ 略歴
2007年 愛知教育大学大学院修士課程修了
1993年 愛知県一色町立一色南部小学校校長
1994年 愛知県教育委員会指導主事・主査
1996年 愛知県西尾市立鶴城小学校校長
1997年 愛知県教育委員会豊田教育事務所次長
1999年 愛知県吉良町立吉田小学校校長
2001年 愛知県吉良町教育長
2010年 名古屋学芸大学教授

■ 主な著書
『教師のライフコースと力量形成』(黎明書房)
『教育概論』(一社社)など

「社会力」という言葉を生んだ背景 — 「他者」と「現実」の喪失

釜賀教授 門脇先生、本日はお忙しい中お時間をいただき、誠にありがとうございます。私ども名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科は、2014年度で創設10周年を迎えました。この節目の時に、当学部の教育理念にふさわしい日本を代表する研究者をお招きしてお話をうかがい、当学部教育のさらなる充実に生かしていきたいと考えております。

早速ですが、本日のテーマは「現在の子どもに欠落しているもの—社会力をどう育むか—」です。先生は、「社会力」という言葉の産みの親であり、その重要性を長年にわたり説いていらっしゃいますが、まず「社会力」という言葉の誕生のきっかけからお教えてください。

門脇先生 「社会力」の前に私が使い始めたのが「他者の喪失」という言葉でした。ちょうど1980年頃です。「他者の喪失」とは、平たく言えば自分以外の人間への理解がほとんど無い状態。他の人に対するイメージがズッポリ抜け、関心とか理解がほとんど無くなっている状態です。裏返せば、関心があるのは自分だけ、非常に自己中心的な状態です。

それからもう一つ、「現実の喪失」という言葉も使っていました。現実というのは、我々が普段生活している社会のこと。生活の舞台である社会がどのようなところなのか、人々、特に若者の間に実社会のイメージが無くなってきているのではないかと考えたのです。「現実の喪失」はバーチャルリアリティの世界にとらわれてしまっているといってもいいでしょう。テレビやゲームの世界の方にリアリティを感じてしまうのです。

この「他者」と「現実」の喪失という事態が進んでいる、子どもたちに変化が生じていると私が感じ、これらのことを言い始めたのが1980年頃でした。ちょうど70年代半ばから校内暴力等で学校が荒れてきた時期です。少年非行や犯罪件数が戦後3番目のピークともなりました。なぜこういうことになってしまったのかと私なりに分析したときに、結論として出したのが、「他者」と「現実」の喪失ということでした。

これらのことを岩波新書としてまとめようと思いつき、原稿を書き始めたのですが、当初は『子どもの社会性』というタイトルを考えていました。しかし書き進めているうちに、「今自分がイメージしているのは、一般的に言われている社会性とはどうも違うな」と思い始めました。ほかの人に対する関心や愛着、信頼感というものが抜け落ちるというのは「社会性がなくなる」ということでもいえるが、どうも違う。そこで、これは新しい言葉を作った方がいいと考え、「社会力」という言葉にしたのです。

人が人となつがって、社会をつくっていく力。もっと詳しくいえば、自分が勉強して学んだ知識や、頑張って身に付けた理論や技術を、ほかの人のために、社会のために進んで使おうと考え実行できる力です。「使え」と言われてやるのではなく、自ら進んで自分の知識や技能を世のために役立てるような人間をきちんと育てる。ほかの人と協力して新しい社会をつくっていく力を育てるとというのが教育の主たる目的ではないか。そう考え、まとめたのが『子どもの社会力』でした。

他者への関心が全く無くなっているとしたら、関心を他の人にきちんと向けるようにすることを教育の根幹に据えないと大変なことになります。社会というのは、人と人の関係がしっかりと組み合せて初めて成立します。それが砂みだりにバラバラだったら、社会は完全に崩壊する。人が人となつがって社会をつくるのが大前提だからです。

釜賀教授 この『子どもの社会力』、授業で紹介するだけではなく、実際に学生たちに読ませました。あとかぎの話から恐縮ですが、非常に

面白いエピソードを載せていらっしゃいますね。同僚の先生の最終講義を聴かれた時の話ですが、電車のシルバーシートにまつわる内容でした。電車のシルバーシートでよく寝たふりをしている若者がいる。そんな姿を見て大人は「最近の若いモンは社会性がない!」と言うが、実は社会性があるから寝たふりができるんだ、と。つまり高齢者や障害者しか座ってはならないことを知っていて、席を譲らなければならないことも知っている。だけど席を譲るのは嫌だ。ならば寝たふりをして、本来座るべき人がいることに気付かないふりをしようと頭を働かせた。これだけの考えを頭の中で巡らすことができるのは、相当に社会性がある、というお話でした。

社会の中でどううまくやっていくか、という適応という点からすると、彼は社会性があるから適応している。しかし適応ではなく、人と人とのつながりの中で社会をどのようにつくっていくのか、その関係性をどのように新たにつくっていくのかという部分では、それができない若者が多い。そういう意味で社会力という言葉を考えて、とも書かれていました。

門脇先生 社会性というのは「今ある社会に適応する」という意味で心理学者が使っている言葉です。教育の目標としても「社会性を育てる」という言い方でよく使われてきました。

確かに今ある社会が成熟して大変立派な社会で、直す必要もないパーフェクトな社会だったら、そこへ適応させるというのは人間形成のあり方として望ましいことでしょう。しかし、果たして今の社会はそんなに素晴らしいでしょうか? 厳しいかもしれませんが、私はダメ社会のオンパレードだと思います。ダメ社会に適応させるような教育を本当にしてよいのか、ということなのです。

社会の中でうまくやっていく術に長けている人を育てるのではなく、逆に世の中のダメなところを変える力を持つ人を育てること。これが教育の目的であるべきです。

生まれながらに備えた他者とかかわる能力 — 「行為の交換」の大切さ

釜賀教授 この社会性と社会力の違い、教育の目的とすべきところについては、学生たちも皆納得していました。

ところで、社会力というものがどのように培われるのか、『子どもの社会力』の中でも重要な部分として展開されていますが、先生は乳幼児期の段階からどのように意識して育てていくべきだとお考えでしょうか?

門脇先生 40年ほど前から、世界各地の新生児研究者たちが様々な実験を行って確かめたことがあります。近年の新生児研究の進歩は目覚ましく、生まれて1週間程度の赤ちゃん、いや、わずか数日、数時間しかたっていない赤ちゃんにも、高度な能力が備わっていることが、様々な実験によって次々と発見されました。

概要をお話すると、生まれた赤ちゃんは近眼的ですが、自分の周りのものはすべて見えています。音についても、何かのモノから出ている音なのか、それともヒトの言葉なのかを全部聞き分けています。発音も正確に聞き分けています。そして最も興味深いのが、生まれたばかりの赤ちゃんは、まず大人を探しているということが突き止められたことです。

探し当てた大人と、社会学の専門用語で言えばインタラクション、行為の交換をするのです。要するにお付き合いをするというか、大人に何らかの働きかけをすれば、それに対するリアクションが返ってくる。そう

いうやりとり、行為の交換をすることによって、ほかの人に対する関心を高めていく。こういうことが明らかになってきました。

つまり、ヒトの子はどの子も生まれながらにして、大人とかかわるための必要な高度な能力を備えていると結論付けるしかない結果が実験から得られたのです。ヒトの子がそのような能力を生まれながらに持っていることが分かったら、生まれてきた赤ちゃんに父親や母親だけでなく、周りの大人たちがきちんとかかわるということさえしていれば、私が社会力のおおもとと考えている「他の人への関心」をしっかりと向けるはず。関心を向ければ、当然いろいろな誘い掛けもします。一緒に遊ぼうと、近寄って肩をたたいたりだとか、頬をなでたりするようなことをする。大人はそれをうとうしいと思うのでなく、きちんと対応することさえしていれば、人間に対する愛着も他の人に対する愛着もどんどん高まっていきます。愛着が高まれば、いろいろなことを一緒に色んなことを行うことにつながり、一緒に行いながら、この人とだったらどんなことでもチャレンジしたくなるという他者への信頼感が生まれます。他者への関心・愛着・信頼感、一連のこういう性向が育まれることが社会力を育て高めることになるのです。

社会力のおおもとがきちんと育っていれば、成長とともに他者と出会う機会が多くなるわけですから、自分からその人に寄っていき良い関係をつくることになる。このように社会力がどんどん強化されていくということが理屈としてはっきりしています。ところが、NHKの調査などでは、生まれて3カ月ぐらいの赤ちゃんが3時間もテレビを見てるとか、4カ月になったらそれがさらに増えるという結果です。何が言いたいかというと、最近では生きた生身の人間との直接的な接触が、生まれて一番早い段階から断ち切られているという憂慮すべき環境が増えているということです。これでは「他者の喪失」が進まざるをえません。そこで、私は「他の人に関心を向けなくなる」ことが社会力を育てる上で一番良くないと言っているのです。

釜賀教授 そうですね、私も1960年代後半から70年、80年と、特に高度経済成長後期以降の社会の変化と密接に関係があるのだと思います。

先生の本の中で、都市化にまつわる部分で無機質化という言葉が使われていました。ここを読んで、都会で育った子と田舎で育った子の違いについて、自分の原体験を含めて共感した学生がいました。それと核家族化というのもよく言われることですね。子どもが置かれている環境、人的環境と同時に物理的な空間変化が、社会力を育てるといふ点から考えると、どうも良くない感じになってきている。



門脇先生 日本の一世帯当たりの人数は、高度経済成長が始まる前の1955年頃までは平均5人でした。明治の初め頃からの数はずっと変わっていません。しかし今は3人を切るころまで減っています。地域社会で近所との付き合いも少なくなっています。人と人が直接触れ合うよ

うな場面が無くなってきたところに、テレビをはじめメディア機器がどつどつ入ってきたことによって、ますます他人(ひと)と接触する機会が少なくなってきているのが今日の状況といえるでしょう。

最近では、他の人と一緒に食事をするのが苦痛だという学生も多いようです。学校によっては食堂に仕切りを付けた、などという話も聞きます。「便所飯」という言葉もあるようで、トイレの中に弁当やパンを持ちこんで食べている学生がいるそうです。それだけ人間嫌ひ、他人と接するのが怖いという感性を持つ人がどんどん増えているのです。

それと最近では児童虐待がどんどん増えている。虐待の相談件数は23年前から調べ始めていますが、最初の年はわずか1,100件ぐらいでした。それが、去年の統計だと7万件ほどになっています。このわずか20年ほどで70倍です。今の若い親たちの中には、自分で生んだ子どもでさえ可愛くないという感性になってしまっている人がいるのです。

話は変わりますが、日本人は「ひと」という言葉をよく使います。「ひとのふんどしで相撲を取る」「ひとの振り見て我が振り直せ」「ひと手を借りる」「ひと目をしのぶ」等々です。辞書を引くと「ひと」が入った言葉がズラリと並んでいます。この場合の「ひと」はすべてその実態は「他の人」のことです。要するに、日本人は「他人」と書いて、わざわざ「たにん」とは言っていないのです。こういう例を見てもすぐにわかりますが、日本人にとっての「ひと」は、人間一般や人類全般のことではなく、「他人(ひと)」「他者」のことなのです。ここがものすごく大事なところで、「他者の喪失」が進んで、他の人、すなわち「他人(ひと)」をイメージしなくなってきた。これは日本人にとって、また日本文化にとって、ものすごく大きな変化と言えます。

関連して、もう一つ重要な例をあげれば、日本人は、自分のことをどのように呼ぶか、いわゆる日本語の自称詞のことですが、自称詞が相手によってコロコロ変わります。相手が誰かによって、例えば、僕、私、自分、オレ、先生、おじさん、などなど。これは日本語に特有のことです。英語だったら、相手が自分の奥さんだろうが、子供だろうが、大統領だろうが、自分のことは「I」だけです。フランス語だったら「Je」、ドイツ語だったら「Ich」。同じく相手が誰であろうと変わりません。このことから分かることは、日本人は相手が誰であるかによって自分を規定するのです。「あなたあつての私です」という意識が当たり前だったのです。それだけ自分の周りにいる他者の存在を意識していたということです。自分より先に他者を意識していたということです。しかし、最近では他の人を気にして日常生活を送るといふ感覚が希薄になってきています。電車の中で化粧を平気ですとか、誰か何をしようと「カンケーナ」ということで無視する。こういうことはその典型的な表れですね。

釜賀教授 昔からの日本人のあり方すべてが良かったわけではないでしょうが、そういう人と人との関係性、他者の受けとめ方は、日本人の良いところであると言っているでしょうね。

門脇先生 話は大きくなりますが、今後の人類社会にとって、人類が生き延びていくためには「他者と競わない」「他者と仲良くする」ということが非常に重要になるはず。これからは、他の人と良い関係をつくるということが最も重要なことになるとすれば、さっき言ったような日本語や日本人の特性みたいなものを、むしろもっとも世界に広めなければならないと思います。

グローバル化などといって、英語を小学校3年生からやるなんて、私に言わせたらバカげています。むしろ世界に日本語を教えるというようなことを積極的にしないと、人類の将来が本当に危ないのではないかとさえ考えています。

私が尊敬している慶応大学名誉教授の鈴木孝夫先生は、30数年前

からこのことを言い続けています。もっと外国人に日本語を教える。日本文化を広めることが人類の存続のために重要だと。私もまさにそうだと思います。

社会力を育てる具体的な取り組み ——地域社会との相互喚起による効果

釜賀教授 社会力とは何か、それが欠落した現代の状況がどのようなものなのか、これまでの話でおおよそ理解することができました。では、社会力を涵養していく働きかけ・環境づくりとして、どのような試みがあるかということになってきます。

私が、面白いと思ったものに長野県の児童教育連絡会議設置要綱があります。長野県が出しているパンフレットなんです。通常の市町村だったら「0歳児からの子育てのために」と書くところが、「子育てのために」となっている。よく見ると、それに門脇先生も係っていらっしゃるということがわかりました。こうした地域での試みが増えています。先生も本の中で幾つか紹介されていますが、具体的な事例をお教えてください。

門脇先生 「大人が直接子どもとかかわる」ということが、社会力を育て強化していくためのもっとも重要なポイントです。ですから、そういう機会や、そういう時間をできるだけ多くして、できるだけ早い時期からしっかり実行していくことが一番大切なことです。

私が筑波学院大の学長になったときも、大学生ということで年齢は高めではありましたが、そこで行ったことは、つくば市で活動している大人たちと一緒にあって、とにかく汗を流すということ。つくば市の発展のためになるようなことや、つくば市民の役に立つようなことを地域の大人たちと一緒にやってもらう、そのことを必修の授業にすることで学生の社会力を育てることにしました。そのために「社会力コーディネーター」を3人ほど採用しました。

ほかにも社会力を育てる取り組みが様々な場所でなされていますが、幼稚園児だろうが、小学生だろうが、中学生だろうが、いろいろな成長段階に合わせて、どういう形でそれを仕掛けていくかが大事です。小学生や中学生で頑張っているのは、私の『社会力を育てる』という本でも紹介した山形県の戸沢村でしょうか。人口5,000人ぐらいの小さな村ですが、全国で戸沢村だけ常勤の「学社融合主事」という人を置いています。学校教育と社会教育を融合させるという役割で、教育長が学校の先生を指名し、任期3年でこの仕事をお願いします。内容は、地域の大人たちと小学生・中学生を、村のあちこちで交流する場面をつくるというもの。そのための人材発掘も含め、いろいろな仕掛けをあちこちで行っています。それが戸沢村の子どもたちの社会力を育てるということに、ものすごく貢献しているのです。

そこに目を付けたのが山形大学の地域教育文化学部です。戸沢村にも先生の研究室を置き、学生を戸沢村に連れて行って村の子どもたちと交流させるということをやっています。子どもにとって大学生は大人であるし、将来教師になる大学生にとっても子どもたちと接することで非常に良い効果を挙げています。長野県の信州大学の教育学部も「you遊活動」をやることで、学生と子どもたちの社会力を高めることを20年前からやっています。

また、現在私は茨城県的美浦村で教育長を務めていますが、教育長になってすぐ、新しい教育プランを立ち上げたときに教育施策の根幹に据えたのが「0歳から90歳までの社会力育て」です。社会力の欠如が子どもだけでなく、大人も危うい状態になっている現状なのでこうしました。大人が社会力を高められなかったら、子どもの社会力を高めるこ

とには結びつかない。そのためにできることはどんどんやりましょうということです。目下、そのためにいろいろなことをやっているところです。

具体的な企画としては、美浦村が霞ヶ浦に半島のように出っ張っているというロケーションを生かし「霞ヶ浦80kmウォーキング」を行う計画もあります。霞ヶ浦を一周すると80kmなのですが、村の子どもたち全員が卒業までに一周するというものです。そうすると、その準備と実行には大勢の大人たちにかかわってもらわないとできないわけで、80kmだと2kmぐらいの間隔でポイントを置かねばなりません。計40カ所になります。そこに4、5人の大人が張り付いて子どもの面倒を見なければなりません。ということは、その日一日だけでも200人ぐらいの大人たちに協力してもらわないとできません。大人たちがそういうことを喜んでやるような村にしたいと思っています。やるとなったら、準備をはじめとして何から何まで大変です。でも「ああいうことができたから今度はこういうことをやろう」と、喜んで次々にチャレンジしてくれるような村になればいいと思っています。こういうことをやるのが子どもの社会力を育て、結果として、大人の社会力もどんどん高まっていくと考えています。



安井教授 戸沢村での具体例として、「もらい風呂」というのもあったそうですね。私の子どものころは自宅に風呂がありませんでしたから、懐かしく面白い試みだなと思いました。

公民館に寝泊まりして、そこから学校に行く。公民館に風呂がないから、その近所にもらい風呂に行く。おのずとそこで地域住民との会話が生まれることになりそうですね。

釜賀教授 今のお話を聴いていると、子どもの社会力を培うには、地域がそれなりの環境を整えなければいけないということもいえますが、逆に子どもの活動を軸として、地域社会をつくり上げる起爆剤となるとも思いました。相互喚起があって面白いですね。

子どもの社会力はどのような環境が育むかということですが、今となっては環境自体がおかしくなっている面もある。おかしくなっている社会をつくりかえる何らかの働きかけを、子どもがキーマンとなってやるという実態があるということですね。

門脇先生 美浦村には中学校が一つしかありません。昔はご多分にもれず校舎が荒れていました。しかし今は乱暴な振る舞いなどは全く無くなりました。今はむしろボランティア活動に子どもの方から積極的に動き出すようになっています。先日幼稚園で運動会があったときに、中学生10人ぐらいが準備や片付けを行い、非常に熱心に活動してくれました。村の様々な祭りの時も、中学生が4、50人、ゴミ拾いのボランティアをするのが当たり前になっています。

安井教授 私も吉良町の教育長を務めていたときに、小学校の運動会は幼稚園から老人会の種目まで全部入れて、地域ぐるみでやらなければいけないと言ってきました。中学生が小学校の運動会で放送係や器具係をやるなど、そういうボランティアで非常に良い関係を築くことがで

きるはず。このような交流だけは絶やしてはいけないと常々言っていたのを思い出しました。

釜賀教授 日本の社会全体がおかしくなっているのは行政側も分かっている、今「地域の再生」という言葉でいろいろな掛けを行っています。ただ、先生は本の中で「地域はあってもコミュニティなし」と表現されました。地域の再生とは言うものの、実は形式的で、本当の人と人とのつながりを考えた意味でのコミュニティづくりにつながっていない、ということをおっしゃっているのかな、というようにも受け取りました。

安井教授 私も同じように感じました。教育長時代に一つの中学校区で5つのコミュニティに分けたことがあります。良い環境になっていたと自分では思っていました、やはり皆さんにどんどん参加してもらって初めてコミュニティというものが機能する。そこまで見届けなければいけません。

門脇先生 おっしゃるとおり、コミュニティというものは人と人とのつながりがあって初めて機能します。私の考えているコミュニティとは目に見えるものではなく、そこに住む住民一人一人の心の中にある志向とか、その志向に基づく活動の継続ですね。住民がその地域に愛着を感じ、ずっと住んでいたいと考えるから少しでもそこを良くしようと思う。その改善意欲で様々な活動に加わり、活動を続けていく。この状態になって初めてコミュニティがあるとみなすことができます。

コミュニティとかコミュニケーションとか、本当はそんな英語を使わなくてもよい状態になるのが理想ですね。もっとすべて、社会力という言葉で説明できればよいのですが。



安井教授 それから先生の言葉の中に「ノーテレビ、ノーゲーム」というものもありました。私も10年ほど前、教育長のときに「毎週水曜日の夜はノーテレビ、ノーゲーム」ということで行っていました。これはなかなか評判が良かったようです。

門脇先生 どんな形でもいいから、朝起きたらテレビをつける習慣をやめるとか、週一回は見ないようにするとか、どんな形でもいいからとにかくやってみなさいと言ってきました。テレビを消すだけでもいろいろなことができます。家族の会話が増える、自分から進んで勉強を始める、お母さんの家事を手伝う、お父さんの日曜大工を手伝う、兄弟で遊びに行くとか、良いことがどんどん増えます。テレビを消すだけでもこんな変化が起きる、というのを親自身が自分の目で確かめることができることがポイントです。

今、美浦村で実際にやっていますが、子どもたちの成績にも跳ね返ってきています。特に「点数上げなさい」などと言ってはいないのですが、今までテレビを見ていたのが、やめて自分から宿題をやるようになったとか、本を読むようになったとか、いい変化が起きますから、当然成績がよくなるという結果がってきます。美浦村では「学力向上路線から

離脱します」と堂々と宣言しています。点取りのためだけの勉強などする必要ないと、先生方にもはっきり言っています。

釜賀教授 今、学力という話が出てきましたが、学力と社会力という点で考えると、先生の『社会力を育てる』の中でアメリカの社会学者、パットナムのことを書かれていましたね。パットナムが提唱する概念「ソーシャル・キャピタル」と、先生のおっしゃる社会力というものは相通じるものがあると。パットナムのいうソーシャル・キャピタルの前提というか、その基本、コアとなることを先生は社会力とおっしゃっている。そのところを指摘されていますが、まさにその通りだと私も思いました。

この部分を読むと、社会力が培われているところでは成績がよい、よく勉強しているということでした。

門脇先生 ソーシャル・キャピタルは「社会関係資本」と訳され使われています。そこに住む人々の間の良い人間関係のことを指しますが、パットナム教授は地域における人間関係のネットワークが濃密なところほど、社会関係資本が高い、社会関係資本の高い地域では成績もいし非行も少ない、という結果をデータによって出しています。しかし、私がそこで指摘したのは、地域の人的ネットワークが濃密であるということは、その地域の一人一人に社会力があるということでしょう。

地域の人的ネットワークを濃密にせよと言っても、誰に呼び掛けたらそれができるかと思ったら、呼び掛ける対象は住民しかない。住民一人一人に、あなたの社会力を高めなさいと言うしかない。住民の社会力が高ければ、おのずと結果として地域の人的ネットワークが高まり、濃密になるということです。

釜賀教授 地域の問題やコミュニティというキーワードが出てくると、必ずパットナムの「ソーシャル・キャピタル」が持ち出されてきましたが、その核の部分は社会力だったということが今回よく分かりました。

門脇先生 そうですね、私も「ソーシャル・キャピタル」などという外国の借り物ではなく、私の言う「社会力」という言葉でズバリ言ってほしいと言ってきたのですが、日本人はどういうわけか外国の先生の言うことの方をありがたく思う気持ちがまだまだ強いようですね。

私は「社会力診断テスト」というものを作って、いろいろところで調査をしてきましたが、そこでも良い結果が出ています。診断テストでまず、社会力がある子どもか、無い子どもか、その中間ぐらいかの3つほどに分けます。その中で、学習意欲があるか、授業の理解度がどれだけあるか、地域活動にどれだけ参加しているか、地域のためになることをやる気はあるか、といった調査結果との関係を調べました。その結果、どれを見ても社会力のある子どもはダントツに自己評価が高い。学習意欲も高い、授業の理解度も高い、地域への参加意欲もあるし、実際に参加している場面も多いし、地域への貢献意識も高い。当然その延長として成績そのものもいい。だから社会力を高めれば、いろいろと良い結果がってきますよ、と色んなところでお話しているのです。

社会力が高いということは、極めて高い能力を備えることに等しいことなのです。脳科学の理論を踏まえた論文も書いていますが、社会力なんてたいしたことではないと思っていたら、とんでもない間違いです。さまざまな人々と適切に社会関係を取り結ぶことができるということは極めて高度な能力が必要なのです。この人は今何を考えているか、あの人は今何をやりたがっているのか、といった頭の中や心の中の状態は決して目で見えるものではありません。辛いのか、切ないのか、嬉しいのか、悲しいのかは、目ではわかりません。けれど、社会力の高い人はそれを正確に、的確に言い当てることのできる、推測することができる。こういうことができるということはとんでもない高度な能力があるということです。

脳科学者の茂木健一郎さんも言っています。テーマが決まってい話をするのは割としやすい。しかし、例えば食事をしながら雑談をするような、何がテーマなのか分からないような話、即興でどういう言葉を返すか自分で決めなければならないような話ができる能力は、とんでもなく高度な能力だ、と言っています。まさに私もそう思います。

こういう意味では、海外に行くとも私自分の能力の乏しさを痛感させられることがあります。外国の学会に参加すると、終了後に外国人たちは寝るまで酒を飲みながら雑談することが多い。会議のときは議題も決まっているから、大体こういう筋で話をするというのはあらかじめ予測できますが、食事をしながらの雑談が一番つらい。英語がペラペラ話せるわけではありませんから、予測不能のテーマに対応し切れないのです。

だから社会力のない子どもたち、非行に走る子どもたちというのは、それがつらい。みんなと雑談をしながら食事を楽しむこともつらいと思う。パンを買ってトイレで一人食べる状況になってしまう。その結果、不登校にもなるし、卒業して仕事するようになれば職場の人間関係が辛いと職場放棄になり、引きこもりということにもつながります。

厚生労働省が、引きこもりの相談件数をもとにして、その人数を推測していますが、少なくとも20代、30代の引きこもりが少なく見積もっても100万人はいるそうです。しかし、これには暗数があるわけです。ウチの子どもが部屋から出てこなくなって1年にもなるからそろそろ出てくるのでは、と考えるのが親心。こういう親は相談には行きません。ですからそういう数も含めると、社会力がなく引きこもっている人の数は、厚生労働省の発表数の2倍はいるはずなんです。

安井教授 私たちは不登校としてとらえてしまっていますが、それは学校という枠組みでの話であって、社会力がないと卒業してからも社会に出られないまま、ということになりかねません。

門脇先生 千葉県に引きこもりの若者を支援する「NPO法人ニュースター」がありますが、こどもまさに社会力を育てるしかない、とはっきり言っています。法人の代表の二神さんも社会力を育てるために様々な仕掛けを作って、浦安を拠点に頑張っています。

その地域の特性、学校の特性、それぞれの特性を生かしながら、大人と子どもが直接かかわりを持つ。できれば同じ目標を持って、一緒に力を合わせてそれを達成する。こういうような場面をつくるというのが、やはり社会力を強化する一番よい方法なのだと思います。

釜賀教授 例えば小学校なら小学校で、学校での具体的な実践となると、いわゆる総合的な学習の時間等で行うことになるのかもしれませんが、時間と場の確保も学校ごとの工夫が求められているということなのでしょう。

門脇先生 昨年から美浦村の小学校が始めたのは「キッズカンパニー」という文字通り子どもたちの架空の会社づくりです。6年生20人ぐらいが社長以下全員が社員となって一つの会社をつくり、第6次産業に挑戦するというものです。

具体的な内容ですが、さつまいもを植えて収穫し(1次)、それを原料にして商品化し(2次)、その商品売る(3次)。これを村の商工会青年部が協力するのです。子どもたちに、さつまいもを原料にどう商品開発をしたいのかをプレゼンテーションさせます。そのためには幾らお金が必要か申告させて、青年部が1万円から2万円程度を融資する。プレゼンテーションのときは、それはもう子どもたち真剣です。青年部もいろいろと質問し、やりとりをしながら融資を決めます。

融資されたお金を使って商品開発するときには、今度は食生活改善委員のお母さんたちが協力します。そして商品ができ上がったら、村祭

りや学校の感謝祭などで販売する。チラシを作って広報誌に入れたりもします。販売後は売上から融資を返し、儲けから1割程度を村に税金として納める。そういうことを1年かけてやっています。

1年間かけて行う取り組みですから大人とのやりとりの機会がふんだんにあるのが、この授業の良いところ。まさに社会力を育てるための総合学習です。

こういうことが工夫すればできるのです。青年部が子どものために社長や営業部長といった名刺も用意してくれます。良い意味で青年部も面白がってやってくれている。お互いにWin-Winの関係が築けている。やはり誰かにおんぶに抱っこではダメで、お互いに面白みを見いだしてやり合い、お互いにとって良い点がある形が長続きしますよね。

そしてもう一つ。今度は大学での取り組みですが、信州大学の教育学部では、これからは地域に貢献できる先生を育てようと、10年ぐらい前から方針をシフトしています。これからは教室で良い授業をすればいい教師だという時代ではない。地域に出て貢献できる人。地域に貢献できるということは、地域の人たちと良い関係をつくるということ。地域の人たちと良い関係をつくることのできる資質や能力を持たないと、これからは良い先生とはいえないということで取り組み始め20年になります。

もともと私の大学の後輩の土井進先生が「YOU遊サタデー」という取り組みを始めたという下地がありました。キャンパスに子どもたちに入ってきてもらい、学生たちがその面倒を見るということを毎週土曜日に行っていました。そして次は逆に学生たちが地域に出て行って、そこで子どもたちと接し、さらには大人たちとも接する。地域の大人や子どもたちと一緒に、畑を耕したり、イベントをしたり、モノづくりをしたり、そういうことを20年も前から取り組んでいたのです。

釜賀教授 今の信州大のお話も、大学生の大学における社会力養成とともに、そのことが同時に地域の子どもの社会力を涵養させることにもつながっているということですね。

門脇先生 先ほども申しましたがWin-Winの関係です。大人も含めて社会力が高まらないことには、子どもの社会力だけ高めるとするのは難しい。美浦村では今、幼稚園から中学校まで12年間一貫して社会力を育てるカリキュラムを具体化しようと取り組んでいます。美浦村の教育長になって5年。まだまだやることが多いと考えています。

釜賀教授・安井教授 先生、本日は豊富な事例とともにお話いただき、誠にありがとうございました。



門脇厚司先生の著書「子どもの社会力」(左)と『社会力を育てる—新しい「学び」の構想』(ともに岩波新書)

日進市の“知の最高峰”集結! 亀山学長・井形学長が記念講座を担当

「日進市制20周年 7大学連携学長記念講座」

日進市の“知の最高峰”が集結!—こんなキャッチフレーズで2014年9月から12月にかけて「日進市制20周年 7大学連携学長記念講座」が開催され、名古屋外国語大学の亀山郁夫学長、名古屋学芸大学・同短期大学部の井形昭弘学長がそれぞれ担当の講座で教壇に立ちました。



この講座は日進市制20周年を記念し、市と連携協力協定を結ぶ各大学の7人の学長が持ち回りで担当して一般向けに開催したもの。亀山学長は9月13日、井形学長は9月27日に各キャンパスで講座を開きました。

亀山学長のテーマは「ドストエフスキーと小説について考える」。日本を代表するロシア文学者の亀山学長の講座ということで、ロシア文学ファンをはじめ、定員を大きく上回る聴講者が詰めかけました。まず、ドストエフスキーの生涯について話が始まり、シベリアでの流刑時代や国境警備隊員だったことなど、名作を数多く生み出す彼のバックボーンについて、さまざまな視点から解説が行われました。そして、亀山学長が翻訳した『カラマーゾフの兄弟』をはじめドストエフスキーの各著書を紹介。学長が現在執筆中の小説『新カラマーゾフの兄弟』についても、その舞台設定の話などが

披露されました。会場には質問の手を挙げる人もあり、ロシア文学ファンも大満足の充実した講座となりました。



方、井形学長の講座のテーマは「夢の長寿社会」ということで、年配の皆さんの聴講が目立ちました。井形学長が自分の年齢を明かすと会場から驚きの声が上がリ、その元気にあやかうと学長の言葉を熱心にメモ取る姿が数多く見られました。

内容は少子高齢化の問題から、子どもを取り巻く環境、医療費や介護保険の話題まで多岐にわたり、データを駆使した非常に説得力のあるものとなりました。「腹八分目医者い



らず」「運動は現在の不老長寿法」など身近な健康法の紹介とともに、理想的な高齢社会は「走りながら考える」、「看取りはアート」であるといった学長ならではの考え方を披露。認知症も近い将来克服できる

日が来ると話し、「目指せ健やかな100才」はもはや荒唐無稽な夢ではない、未来高齢社会は明るいんだと、希望あふれる言葉で締めくくられました。終始笑顔を決やさず話す井形学長に、聴講者の皆さんも元気づけられた様子で会場を後にしました。



亀山学長が「多文化共生」をテーマに 大村愛知県知事らと鼎談



「多文化共生フォーラムあいち2014」

2014年11月22日、名古屋市東区の「ウィルあいち」で愛知県が主催する「多文化共生フォーラムあいち2014」が開かれ、亀山郁夫名古屋外国語大学学長が県知事らとの鼎談、およびパネルディスカッションに参加しました。

愛知県には約20万人の外国人が住んでおり、国籍や民族等の違いを越えて理解を深め、県民全体で地域づくりを進める必要があります。そこで毎年11月を「あいち多文化共生月間」と定め、行事の一環として今回のフォーラムが開催されました。

まず、大村秀章愛知県知事が「文化の多様性を認め合う社会が、持続可能な強い社会となります。誰もが活躍できる共生社会を目指しましょう」とあいさつ。続いて大村知事、愛知淑徳大学の小島祥美准教授、そして亀山学長による鼎談が行われました。

進行役である小島准教授から外国人県民の現状を問われた大村知事は「モノづくり県である愛知県では、リーマンショック前には約22万8000人の外国人が居住。いったん減少したものの最近ではブラジル人や中国人をはじめ、再び増加傾向にあります」と説明。これを受けて亀山学長はロシア滞在時の思い出を披露し「ソ連時代の1984年当時、ロシアでは日本人であること自体が尊敬される、そんな空気がありました。社会主義における民族友好の教育がしっかり行われているという印象でした」と、多民族国家であるロシアの良い側面を語りました。そして、北京外国語大学を訪問した際、東日本大震災について涙を流して同情してくれたという、ナショナリティを越えた経験談も披露。それをきっかけに「外国語大学の教育に求められているものはトランスナ



亀山学長の話に耳を傾ける大村知事と小島准教授

ショナルなアイデンティティー、つまりエンパシー、共感力を養うことではないかと感じました」と語りました。その後、東京外国語大学で「多言語・多文化教育研究センター」を設置したことや、名古屋外国語大学では2015年4月に大学院に「グローバル共生コース」を設置することなど、教育者としての多文化共生への取り組みを語りました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、亀山学長、小島准教授のほか、地域で活躍する3名のパネリストが参加。外国にルーツを持つ現役の大学生や中学校教諭、NPO法人理事長というそれぞれの立場で語られる多文化共生への取り組みに、亀山学長は「二重のアイデンティティーを生きるということは、これからの時代、本物かつ最高の“杖”となるはず。例えば他者になり代わって役目を果たす翻訳者は二重のアイデンティティーを持つことになり、高い知性が求められます。大学としてそういう人材の養成こそ、多文化共生への貢献につながるはず」と語りました。

最後にあらためて、大学と行政が多文化共生推進に向けて今後もタッグを組むことを確認し合い、フォーラムを閉会しました。



地域で活躍する皆さんと行われたパネルディスカッション



写真左から大村知事、小島准教授、河村八千子氏(NPO法人フロンティアとよはし理事長)、伊木ロドリゴ氏(豊田市立保見中学校教諭)、大島カーリン氏(名城大学2年、市民団体Pas a Pas代表)の各パネリストの皆さん。

卒業制作発表会 および卒業・修了制作展 開催

名古屋学芸大学メディア造形学部では、ファッション造形・デザイン・映像メディアそれぞれの学科で卒業制作発表会や制作展を開催。学生生活の集大成である力作を見ようと、各会場に多くの皆さんが詰め掛けました。

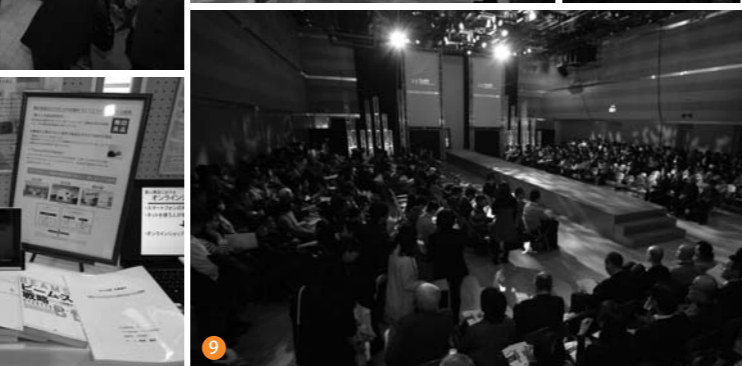
ファッション造形学科 | 第10回 卒業制作発表会

「Arts & Science」コンセプトに、ファッションショーとパネル展示

10回目を迎えた伝統の晴れ舞台、いざ開幕！——ファッション造形学科は2015年1月24日、ナディアパーク(名古屋市中区)内デザインホールで、「第10回卒業制作発表会」ファッションショーを開催しました。

今回のショーは10回目ということで、あらためて原点に立ち返り、「学芸」を表す「Arts & Science」がコンセプト。アートとサイエンスの融合を目指した70点の作品(大学院生作品3点含む)が来場者の前で次々と披露されました。各作品はそれぞれの学生が前期に卒業論文を書き上げ、そのテーマに基づいて秋に制作したものです。会場に詰め掛けた保護者や関係者から惜しみない拍手を受けていました。フィナーレでは学生全員が舞台に揃い、代表の榊原亜季さんが「仲間と過ごした日々は宝物。支えてくれた皆さんに感謝します」とお礼の言葉を述べました。なお、ショーの第1部ではドイツ国立ブフォルトツハイム大学の学生作品11点も披露されました。

また、ホールロビーでは、同じくコンセプトに基づいた研究発表として、15点(ビジネス・色彩・デザイン・大学院)のパネルを展示。ファッションショーの華やかさと、積重ねた研究成果の披露という両輪が相まって学生たちの奮闘努力がひしひしと伝わり、社会に出るからの活躍も予感させる発表会となりました。



①～⑤デザインから生地選び、縫製まで学生が手掛けた。⑥卒業研究論文発表者のパネル展示に興味深く見入る来場者の皆様。⑦パネル展示は、現物やパソコンも使用し訴求力アップ。⑧開場前から多くのお客様が並んだ受付。⑨満席となったファッションショー会場。今か今かと開幕を待つ来場者の皆様。⑩卒業生代表としてあいさつする榊原亜季さん。

デザイン学科 | 第10回 卒業制作展

自由な発想でとらえた、社会性のあるデザイン作品を展示

デザイン学科では1月14日から18日にかけて、愛知県美術館(名古屋市東区)ギャラリーで「第10回卒業制作展」を開催しました。こちらも10回目ということで、学生たちの自由な発想で時代をとらえた社会性のあるテーマの作品がズラリと並びました。

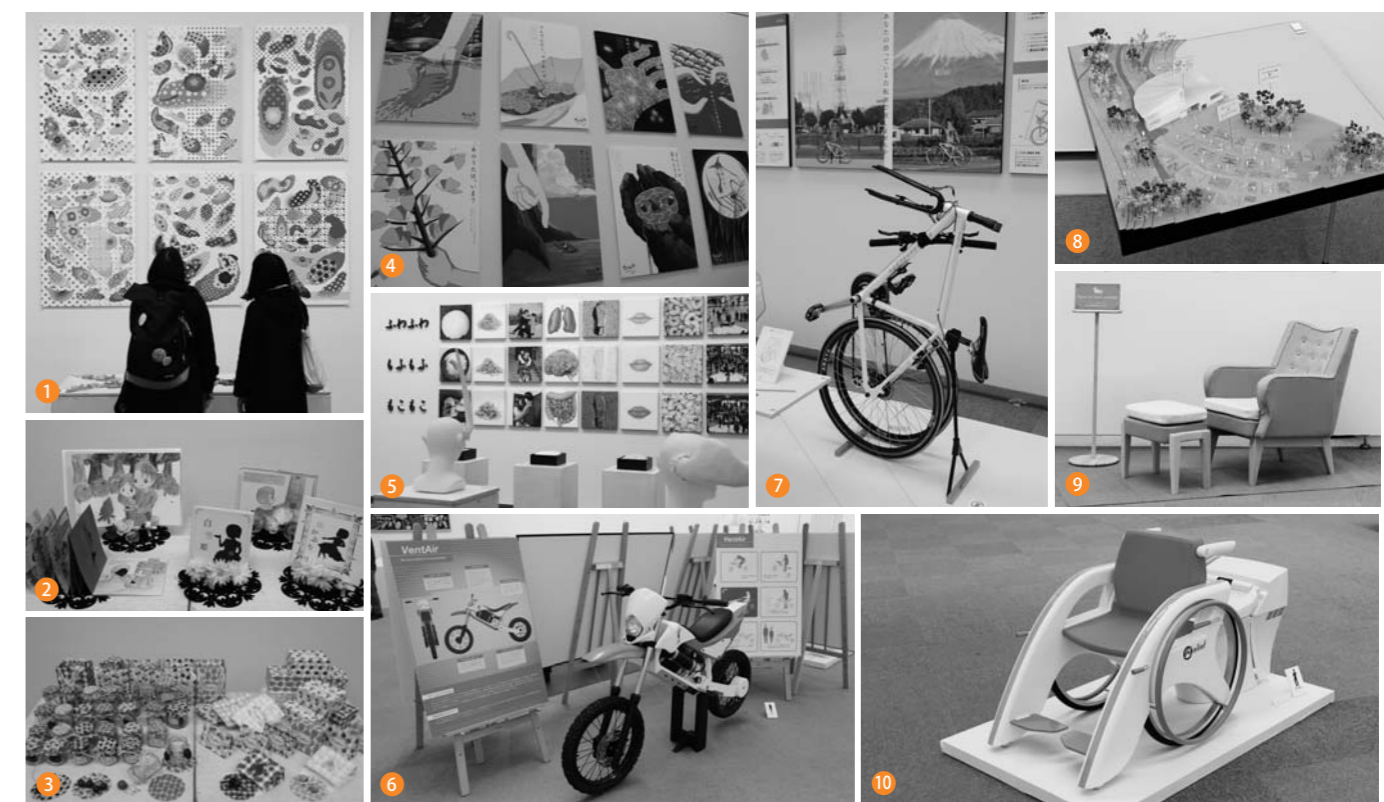
ポスターやパッケージ、アニメーション、ダイアグラムや知育玩具を制作する「ビジュアルコミュニケーションデザイン(VCD)」、住環境デザインや都市計画といった空間を提案する「スペース・プロダクトデザイン(SPD)」、そして現代社会におけるデザインマネジメントやデザインとの関連性を研究する「学究デザインビジネス」の各専門領域に沿って展示。どの作品も来場者が思わず足を止め、つい目を向けてしまうほどのデザイン力を持ったものばかりでした。

河村暢夫学科長は「政治経済・自然環境等が激動する今、産業におけるデザインの関わり方も若者の新鮮な発想と感性が求められています。産学協同の課題を一部展開するこ

も視野に入れ、社会との接点の密度を上げていきたいと考えています」とあいさつを掲示。学科長の想いと学生たちの真摯な取り組みが十二分に伝わる卒業制作展となりました。



星座をテーマにした宇宙をイメージした作品(VCD)



①～⑤若者ならではの個性が光るビジュアルコミュニケーションデザインの作品。⑥～⑩産業や街づくりに直結するスペース・プロダクトデザインの作品。

映像メディア学科 | 卒業・修了制作展

6つの領域で、学生たちの創作活動の集大成を披露

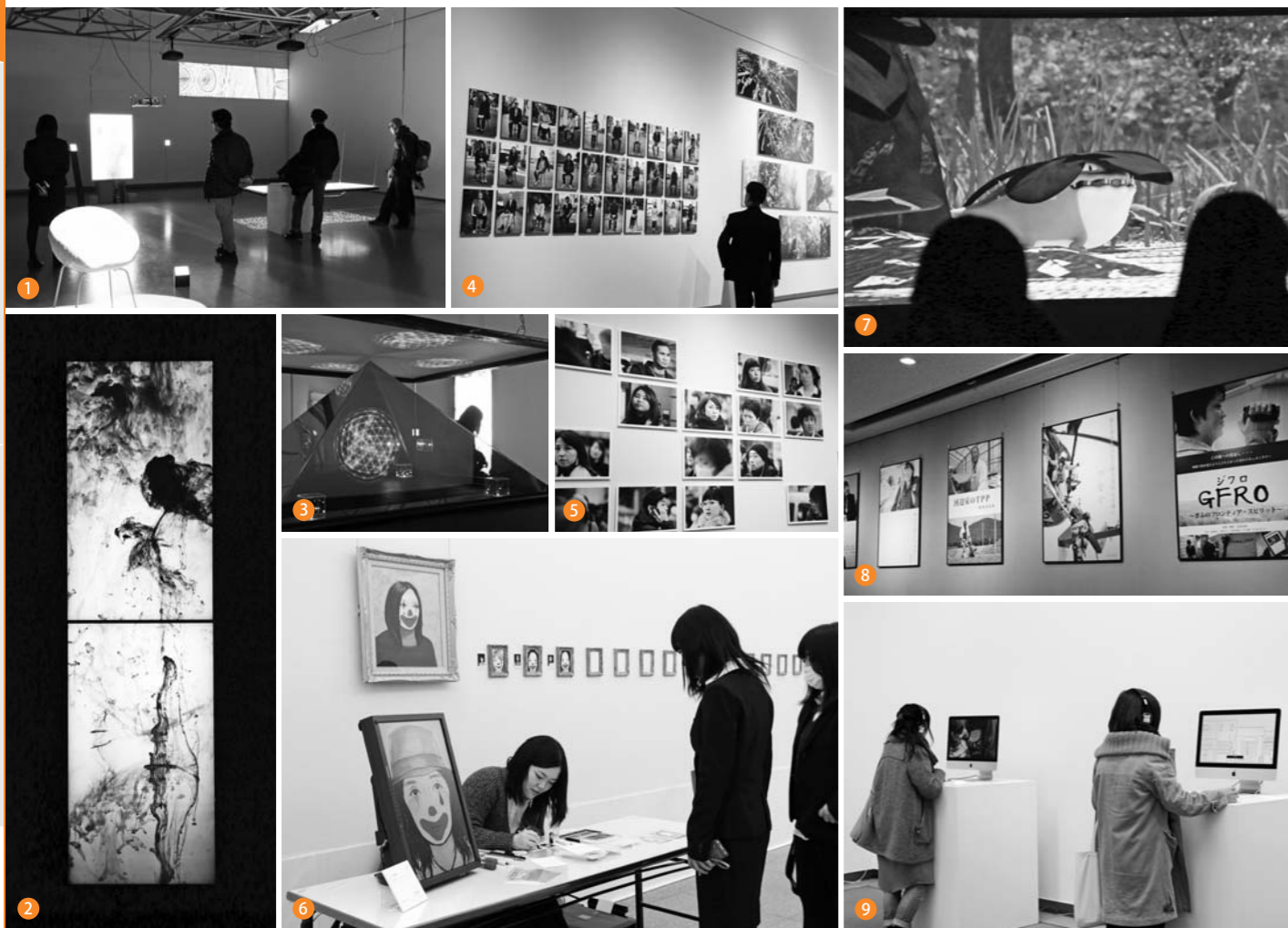
映像メディア学科は大学院メディア造形研究科とともに1月14日から18日にかけて、「卒業・修了制作展」を開催しました。会場となった愛知芸術文化センター(名古屋市東区)では、ギャラリー展示室やアートスペース、中リハーサル室等、多くのフロアを広くにわたって作品上映や展示、公演に利用させていただきました。

各作品は映像メディア学科を構成する「写真」「映画」「CG」「サウンド」「TV」「インスタレーション」の6つの領域ごとに発表。学生としての創作活動の集大成となる88作品が、それぞれ上映・展示・パフォーマンス公演という形で多くの来場者の皆様に披露されました。

まず、主に「写真」や「インスタレーション」の発表の場となった展示室では、作品群が醸し出す雰囲気や独特の空間が出現。テーマに基づいた写真にじっくり見入る人や、インスタレーションの不思議な世界に、学生たちの感性を感じ取るうと足を止める来場者の皆様がたくさんいらっしゃいました。

また、「サウンド」では学生たちがパフォーマンス公演披露。会場全体を包み込む音響効果とともに映像等が駆使される中、学生自らがパフォーマンスをするという三位一体の魅力に、会場からは大きな拍手が寄せられていました。そして、「映画」「TV」「CG」では、プロ顔負けの力作を来場者の皆様にじっくり視聴。ポスターも学生たちが手作りしてアピールするとともに、途中入場のお客様を暗がりの中、一人一人席までご案内するなど、非常に配慮の行き届いた上映となりました。

卒業制作展実行委員会は「私たちは互いに悩み、迷いながらも切磋琢磨しここまでできました。この展示会は終わりであるとともに始まりでもあります。今、私たちはスタートラインに立ちました」とメッセージを発表。創作活動に終わりはない、さらに成長できる可能性を誰もが持っている。そんな決意表明とともに今後もメディアというジャンルの中で活躍が期待される学生たちの作品に、来場者の熱い視線が注がれていました。



①～③主にインスタレーションが展示されたコーナーでは、独特の空間が出現。④～⑤写真はそれぞれのテーマによって配置の仕方も工夫。⑥来場者とコミュニケーションを図るインスタレーションも。⑦～⑧映像作品を鑑賞する来場者の皆様。PRポスターもなかなかの出来栄。⑨パソコンで観られる自由閲覧コーナーも。

特別寄稿

夢の長寿社会

名古屋学芸大学長 井形 昭弘

① はじめに

われわれは幸せな長生きでないといけないとの願望を込めて「長寿社会」と呼んでいます。秦の始皇帝は若くして権力の座に就き不老長寿を夢見ましたが50才で生涯を終えました。長寿世界一を達成した日本ではその夢をほぼ達成したといえましょう。

② 高齢社会の未来は明るい

一般に「高齢社会は暗い」との見方がありますが、私はそう思いません。日本は平均寿命世界一になりましたが、介護を要する人々は高齢者人口の約20%に過ぎず、多くの高齢者は昔より健康状態は良く元気です。円熟した頭脳と豊富な経験を持つ健やかな高齢者が増えることは社会のマイナスになるはずはありません。例えば現在の65才以上を高齢者とするルールを75才以上とすれば、高齢化率はわずか12.3%、それだけで若い国とのイメージが湧きます。医学の進歩は留まるどころを知らず、次々に病気が治るようになりました。かつて亡国病といわれた、脚気、結核、梅毒もすべて解決しています。やがて認知症も近い将来制圧されると思います。認知症が解決すれば高齢社会はぐっと明るくなります。

③ 守る健康から創る健康へ

明治時代以降、どんな病気でも治そうという治療医学が進みました。しかし病気がはじまる前に予防することの方が発症後の治療よりずっと重要です。

健やかな長生きには生まれつきの素因より生活習慣がずっと重要であることが明らかになり、老年病は生活習慣病と改称されました。努力して良い生活習慣を身につければ長生きができます。「守る健康」は「創る健康」の新時代になりました。運動、栄養、休養が大事ですが、特に運動は現代の不老長寿法といえましょう。平均寿命日本一の長野県では健康づくりに熱心で、よく歩きよく運動することに取り組み、その結果、医療費も全国と比べ低いグループにあります。やればできるのです。

④ 介護保険の導入

2000年に介護保険が導入され、わが国の高齢者福祉は家族から社会の手に移り飛躍的に向上しました。福祉の目標も弱者救済から自立支援へと大きくシフトし、介護予防(健康づくり)も導入されました。

医療、福祉は将来の健やかな長生きへの投資であり、一概に節約すべきとの発想で対処すべきではありません。特に健やかな長生きが可能となったという大きな成果を忘れてはなりません。

理想的な高齢社会の創造は試行錯誤からしか生まれません。私は介護保険の導入に関与しましたが、「走りながら考える」とのスローガンを掲げていました。まず、最初の一步を踏み出し、不都合な点が判明したら修正する、この姿勢が現状を理想へと近づけます。

⑤ 目指せ健やかな100才

1960年代には二桁に過ぎなかったわが国の百寿者(100才以上の人)は現在約5万4千人、2050年には70万人に達するとの試算もあり、「目指せ健やかな100才」はもはや荒唐無稽な夢でなくなりました。大きな夢をもって前進して行きましょう。

⑥ まとめ

未来長寿社会は人類がはじめて経験する大事業であり、これにチャレンジしてゆく責務があります。そしてそれはわれわれの努力により実現可能であることを強調したいと思います。

本学園の所在する愛知県日進市が2014年10月1日に市制20周年を迎えたことを契機に2015年1月1日付けで「健やかになっしん宣言」を行いました。井形先生が、この宣言に寄せて日進市の広報紙である「広報になっしん」2015年1月号に寄稿されたものを転載させていただきました。



日進市制20周年「7大学連携学長記念講座」で講演する井形学長

協定校一覧

NUFS Partner Institutions



● アイルランド

リメリック大学

● ベルギー

ブリュッセル外国語大学

新しい協定校の紹介

NEW

パリ第7大学

所在地 フランス共和国パリ市 学生数 約26,000名

特色 パリ大学(University de Paris)はフランス共和国の、パリ、クレテイクおよびヴェルサイユの3大学区にある13の大学の総称です。パリ第7(デイドロ)大学は、1970年に設立された総合大学です。特色として、研究レベルの高さが全ての分野において世界的な評価を得ていること、日本を含むアジア研究が盛んで、国際交流が活発に行われていること、などがあります。

大学HP <http://www.univ-paris-diderot.fr>

● フランス

パリ第7大学
トゥールーズ・ル・ミライユ大学
アンジェカトリック大学
リヨン第3大学
ボルドー第3大学
グルノーブル第3大学

エクス・マルセイユ大学
カーン大学
マルヌ・ラ・ヴァレー大学
パリ第4大学フランス文明コース
リヨカトリック大学
ニース大学

● イギリス

パース・スパー大学
ミドルセックス大学
ウィンチェスター大学
セントラル・ランカシャー大学
ケント大学
ポーツマス大学
オックスフォード・ブルックス大学

● オーストラリア

サンシャイン・コースト大学
グリフィス大学
ニューカッスル大学
オーストラリアン・カソリック大学
サウスオーストラリア大学
タスマニア大学
アデレード大学

● ニュージーランド

マッセイ大学
ワイカト大学

● 中国

北京外国語大学
西安外国語大学
大連外国語大学
天津外国語大学
上海外国語大学
大連大学

● 台湾

銘伝大学
国立台湾大学

● 韓国

釜山外国語大学校
全州大学校
又松大学

● ベトナム

ベトナム貿易大学
ベトナム国家大学
ハノイ外国語大学

● カナダ

トロント大学生涯教育部
モントリオール大学
メディスンハットカレッジ
アルゴマ大学
セルカークカレッジ
レスブリッジ大学

● アメリカ

グランドキャニオン大学
モンレー国際大学
テネシー大学チャタヌーガ校
カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校
ノースキャロライナ大学グリーンズボロ校
ウェスタン・ワシントン大学
クレムソン大学
コースタル・キャロライナ大学
シンシナチー大学
アイオワ大学
ジョージア・サザン大学
カーソンニューマン大学

キャンベルビル大学
リンゼイ・ウィルソン大学
テキサス大学サンアントニオ校
カンサス州立大学
ニューメキシコ州大学
エバンスビル大学
カリフォルニア州立大学モンレーベイ校
ノースキャロライナ大学 シャーロット校
ハワイ・パシフィック大学
ブレスリア大学
カリフォルニア大学リバーサイド校
バイクビル大学

● メキシコ

グアダハラ自治大学

2014年度2期 海外留学生出発



今学期は162名の学生が海外留学へ出発しました。7月23日には、亀山学長から、激励のお言葉をいただきました。学生達は、大きな期待と少々の不安を胸に、8月から11月にかけて、それぞれの留学先へ旅立ち、現地での留学生生活をスタートしています。

2014年度2期出発 留学先国別一覧

アメリカ	71名	ニュージーランド	6名
カナダ	26名	フランス	20名
イギリス	18名	ベルギー	1名
アイルランド	1名	中国	4名
オーストラリア	14名	台湾	1名
		計	162名

2014年度出発海外派遣留学生数

1期出発学生と合わせ、今年度は300名近い学生が海外へ派遣されました。 **計281名**

海外留学生 ~おいしい話(イギリス編)~

ケント大学に留学中の国際ビジネス学科 安川翔麻さんからのレポートです。

イギリスといえばそう、ブリティッシュパブが有名ですね。私が滞在しているカンタベリーにも数えきれないくらいのパブがあります。その中でもparrotというパブは街の中で最も古いパブで、その歴史を裏付けるようにフードが最高。特に地元のビーフや野菜を使ったグリル料理は絶品で日本のステーキに引けを取りません。イギリスのイメージというと、ご飯がまずいというのが真っ先に思い浮かぶ方も多いと思います。これはただ単にイギリス人は料理に名前をつけないというのが大きな要因で、レストランのメニューを見るとLamb with mashed potato and ~というのが多いのです。イギリスにもおいしい料理がたくさんあり、私たちはイメージで勝手に決めつけていただけなのかも知れません。(国際ビジネス学科2年 安川翔麻)



ブリティッシュパブ「Parrot」のグリル料理



友人と

2014ロシアミッション青年交流事業

【8/16~24 日本国内各地、9/7~14 モスクワ・ペテルブルグ】に本学代表として参加した、池田真菜さんによるレポートです。

“日露の友好関係の懸け橋になりたい”という思いの下、このプログラムに参加しました。私自身もそうであったように、日本では、「ロシア=怖い・暗い」というイメージですが、今回ロシアに行っ



モスクワ大学ジャーナリズム学部の校舎にて

て、マイナス面を感じることは一切ありませんでした。ロシア人は想像以上に日本に興味を抱き、日本文化に好感を持っていたので、むしろ私たち日本人の方がよりロシアのことを知って、身近に感じるべきだとさえ思いました。また、地下鉄のつくりや自動販売機など連時代の名残りが残っているのが印象的であり、ロシアの古き文化を大切にすることは日本と似ていて、精神性が共通していると思いました。そこで、まず周囲の人に自分の言葉



エカチェリーナ宮殿の前で

でロシアの魅力を伝えていくことを始めることにしました。互いに尊重し、信頼関係を構築できるよう、この先も交流を続けていきたいです。(現代英語学科4年 池田真菜)

One Young World Summit 2014

【次世代を担う若者による国際会議、10/15~19 ダブリン】に本学代表として参加した、中溝優花さんによるレポートです。

外国語大学生ならば、もっと世界で起こっている問題について目を向け、行動を起こすべきです。これは、私がOne Young World Summitに参加して最も痛感させられたことです。世界で起こっている問題なんて世界一の主導権を握るアメリカ合衆国に任せればいいと考える人もいるかもしれませんが、武器を持たない平和な先進国である日本で生まれた身としてできることはあるはず。世界には、様々な理由で自由を奪われた人たちがいます。死を覚悟して世界に自国の現状を伝えてくれた人々を救えるのは、未来をつくる先進国出身の私たちではないでしょうか。(現代英語学科3年 中溝優花)



OYWのアイコンを囲む参加者



OYW関係者と190ヶ国の国旗

RECORD OF VISITORS

来訪日・海外の教育期間等(国・地域名)	来訪者
● 2014年6月9日・10日 日本語学習青年招聘グループ	
● 10月2日 ウィンチェスター大学(イギリス)	デービット・ストリート氏
● 10月9日・10日 ディズニー国際カレッジ(アメリカ)	イベッテ・ノーザン氏 マイケル・クルス氏
● 10月15日 サンシャインコースト大学(オーストラリア)	ミッシェル・ウィロビー氏
● 11月10日 セルカークカレッジ(カナダ)	シャーナ・ラブラー氏
● 11月21日 ニューカッスル大学(オーストラリア)	アダム・エルヒンディ氏
● 11月21日 ワイカト大学日本事務所(ニュージーランド)	吉田恵氏
● 11月25日 セントラルランカシャー大学(イギリス)	天野貴子氏
● 12月1日 アルゴマ大学(カナダ)	ジョアンヌ・エルビー氏
● 12月2日 ノーザンブリア大学(イギリス)	アンドリュー・レーン氏
● 12月11日 カーソンニューマンカレッジ(アメリカ)	レジーナ・サリヴァン氏

受入れ留学生

FALL SEMESTER 2014

世界18か国・地域から
受け入れ留学生

108名
(2014年12月現在)

NUFSには、交換留学生の86名と大学院・学部の正規課程留学生22名の計108名の外国人留学生が在籍し、日本語・日本文化、国際ビジネスを学んでいます。

アメリカ	27名	カナダ	4名	ニュージーランド	1名
中国	28名	ベルギー	3名	イタリア	1名
フランス	12名	インドネシア	2名	ポーランド	1名
イギリス	11名	ルーマニア	1名	キルギス	1名
オーストラリア	6名	フィリピン	1名	ベトナム	1名
台湾	6名	ブルガリア	1名	韓国	1名

WELCOME PARTY



9月2日、海外の協定大学から新たな交換留学生を歓迎するウェルカムパーティーが開催されました。集まった学生たちは、最初は遠慮がちでしたが、徐々に打ち解け、和やかな会となりました。クラブ・サークル紹介も行われ、留学生たちは授業以外の活動にも興味を持っている様子でした。現在、留学生たちも日本語や日本文化を勉強しながら、クラブ活動にも参加しています。



本学には、在学したまま、半年から1年間、海外の教育機関で学ぶことのできる海外留学制度があります。この制度を使って学んでいる学生の留学滞在記を掲載します。また短期海外研修のレポートもご覧ください。

留学生報告

英国 ボーンマス芸術大学 留学 | メディア造形学部映像メディア学科 4年 中島 功二さん



右から2人目が中島さん。

私は現在Arts University Bournemouthに名古屋学芸大学からStudy Abroad Studentとして留学しています。外観はこじんまりとした現代的な建築で学芸大学と似ています。私はFine artの学生で、作品制作が中心ですが、Academic writingが要求されます。コース内で様々なWorkshopが開かれ、特にNight Courseは社会人も多く参加し充実している印象です。Bournemouthは海辺の近くで騒がしさはなく、比較的静かで住みやすい地域です。いろいろな国、人種と話ができ、留学生の数が多いです。UKの多様な発音に加え多国籍な英語が聞け、本当の意味でのInternational Languageが体験できます。

海外研修報告

メディア造形学部 デザイン学科 助教 谷口 友帆

「高い結果を残すためには自己像を大きく持つことが重要だ。」

これは以前、著名なスポーツトレーナーが競技におけるアドバイスとして仰っていた言葉だ。「自分はこんな人間だ」というイメージをどう持つかでその人の全ての行動は決まるらしい。デザインにおける活動もこれと同じことが言える。自分の中に小さなイメージしかなければ、行動はその想像の範囲に収まってしまうが、大きな現実を知り、想いを膨らませられれば、自分のクリエイティブも飛躍する。自分の想像と経験の範囲でしかアイデアは出て来ない。イメージの限界を意識的に破っていくことが肝要だ。

デザイン学科はこの2014年夏、8月26日から9月8日まで14日間の北欧研修を実施し、34名の学生が参加した。ノルウェー→スウェーデン→デンマークと国を移



日本人スタッフや日本人留学生

し、その毎日で貴重なプログラムが実施された。

ヘルシンキ「アラビアファクトリー」では陶磁器の大規模な生産工程を見学し、ストックホルムではチャイムのない学校「ヴィ



トラスクール」において生徒の責任感を伸ばすよう工夫された空間設計や教育方針を知り、またコペンハーゲンでは本学NUASのロゴマークをデザインした「コントラポイントデザイン事務所」でレクチャーを受け、他様々な施設を巡り単に観光で訪れる北欧とは異なる、特別な世界の広がりを感じられた。

また現地で働く日本人スタッフや日本人留学生から直接話を伺う機会もあり、同じ国籍を持ちながら北欧の地で活躍されている姿に触れ、学生それぞれが自己の潜在的な可能性を感じ「自分もこんな世界を選ぶことができる」と視野の広がりを得たはずだ。

訪問先の各施設、また北欧の人々が持つ日常生活の価値観などをかいま見、学生が持つデザインのイメージは大きく膨れ上がっただろう。この研修により、参加学生のリミッターが外れ、新しい創作のアイデア、目標や大きな未来が見つかったのではないかと深く感じている。

本研修の日報は以下のFacebook内ページに記載されている。ご高覧頂ければ幸いです。

<https://www.facebook.com/nuasdesign.kaigai2014>

日本語教育センター

日本語教育センターでは、留学生が日本の伝統文化を実際に体験できるよう「日本文化実習」を実施しています。昨年の7月から11月にかけて開講された文化実習を紹介します。

紙漉き体験	茶道体験	座禅体験	そば打ち体験	作陶体験

Hello NUFFS!

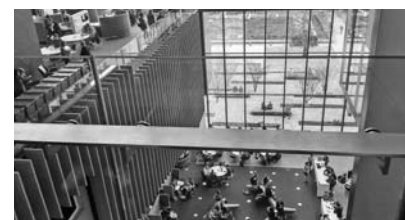
協定校からの留学生として、日本語教育センターで勉強しているジェームズ・バーバンクさんが、出身大学の紹介と現在の日本での生活の様子をレポートしてくれました。

私は、イギリスのオックスフォード・ブルックス大学から来たジェームズです。ブルックスは三つのキャンパスに分かれていて、それぞれのキャンパスは違う専門を教えています。私が通っているジブシー・レーンキャンパスは、語学教育を専門しています。ここはオックスフォードの町の中央から15分歩いて行くと、自然に囲まれていてとても美しい場所だとも思います。2015年にブルックスは誕生から50周年の記念日を迎えます。最近になって新しい図書館と建物が完成しました。

私は今年の8月に名古屋外国語大学(NUFS)で日本語を勉強するために留学してきました。ブロッシーという寮にほかの留学生たちと住んでいます。毎日3時間日本語の文法、漢字と読解の授業を受けていて、日本人の学生たちと部活にも参加しています。それに私を含めて多くの留学生はラウンジに参加しています。ラウンジでは自分の母語を日本人の学生に教えています。私の場合英語を教えていました。大学で行われるパーティ、例えばハロウィンパーティや大学の学祭にも参加しているいろいろな人と話したり、会話をしていました。

NUFSには1年間留学します。もうすぐ半年を迎えますが今まではすごくいい経験をしてきました。日本人に英語を教え、逆に日本人から日本語を学び自分の国の言葉を交換し合っているから楽しいうに語学が上達します。

NUFSでの留学は毎日がほんとに楽しいです。ぜひ皆さんもNUFSに来て一緒に話をしましょう!
(James Burbanks)



ブルックス大学の新しい建物



留学生と日本人学生とお出かけ ブロッシーのみんな

TOEFL-ITPのお知らせ

(Test of English as a Foreign Language)

本学では、4月下旬など年3回、TOEFL-ITP(英語能力判定試験)を学内で実施します。詳細は、その都度、ポータルで通知します。海外留学を検討している方はぜひ受験しましょう。

2014年度(4年次生)就職状況 <<速報>>

▶ エアラインはじめ各業界で躍進!

2014年度は、求人件数で前年比2割増加(本学比)が示すように、全体的に各企業の採用意欲が高い年となりました。本学もこの上昇気流に乗り、エアライン業界では昨年の48名を大きく上回る61名(1月現在)の内定者を出すなど、各業界において躍進著しい一年となりました。

主な内定先企業 (2015年1月時点)

航空	●日本航空 ●全日本空輸 ●カタール航空 ●ANAウイングス ●タイ・エアアジアX ●JALスカイ ●Kスカイ ●ドリームスカイ名古屋 ●ANA中部空港 ●ANAエアポートサービス ●ANA関西空港 ●空港ターミナルサービス ●エア・沖縄 ●スイスポートジャパン 他	メーカー	●アイシン精機 ●日本特殊陶業 ●ノリタケカンパニーリミテド ●大同メタル工業 ●新東工業 ●セーレン ●ノーリツ ●村田製作所 ●アイカ工業 ●アイホン ●パロマ ●井村屋 ●ブルボン ●エフ・シー・シー ●武蔵精密工業 ●岡部 ●林テレンプ 他
旅行	●JTB中部 ●JTB東海 ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●ジェイアール東海ツアーズ ●農協観光 ●エイチ・アイ・エス ●名鉄観光サービス ●クラブツーリズム ●阪急阪神ビジネスラベル ●郵船トラベル 他	商業・アパレル	●興和 ●山善 ●三菱商事テクノス ●ミタチ産業 ●岡谷鋼機 ●東陽 ●進和 ●コーセー化粧品販売 ●名鉄百貨店 ●ジェイアール東海高島屋 ●セブン・イレブンジャパン ●ファーストリテイリング(ユニクロ) ●ロクシタンジャパン ●八木兵 ●ワコール ●サマンサタバサジャパンリミテッド 他
運輸	●日本通運 ●日本トランスシティ ●フジトランスコーポレーション ●東陽倉庫 ●名港海運 ●伊勢湾海運 ●鈴与 ●旭運輸 ●キムラユニティ ●丸全昭和運輸 ●豊通物流 ●濃飛倉庫運輸 ●ケイラインロジスティクス ●近鉄エクスプレス 他	金融・保険	●三菱東京UFJ銀行 ●名古屋銀行 ●愛知銀行 ●大垣共立銀行 ●第三銀行 ●三重銀行 ●静岡銀行 ●清水銀行 ●豊田信金 ●半田信金 ●豊橋信金 ●野村證券 ●SMBC日興証券 ●SMBCフレンド証券 ●大和証券 ●岡二証券 ●東海東京証券 ●東京海上日動火災 ●かんぽ生命 ●第一生命 ●損保ジャパン日本興亜保険サービス ●クレディセゾン 他
ホテル	●ジェイアール東海ホテルズ(マリオットアソシア) ●名古屋ヒルトン ●名古屋東急ホテル ●名鉄グランドホテル ●東横イン ●相鉄ホテル(横浜ベイシエラトロン&タワーズ) ●ミリアリゾートホテル ●グランビスタホテル&リゾート ●サゴエンタプライズ 他	サービス	●日本郵便 ●国際交流サービス協会 ●イーオン ●ECC ●GABA ●ベストプライダル ●高見 ●平安閣 ●ラビアンローゼ ●テンプスタッフ・ピープル ●長島観光開発 他
マスコミ・情報	●中日新聞社 ●マイナビ ●中広 ●中アドレップ ●シー・ウェブ ●電広 ●富士通マーケティング 他	公務・教職・建築・その他	●名古屋市役所 ●岡崎市役所 ●東浦町役場 ●名古屋市消防局 ●自衛隊 ●警視庁 ●愛知県警 ●岐阜県警 ●愛知県 ●名古屋市 ●岐阜県 ●三重県 ●静岡県 ●長野県各公立学校教諭、各私立学校教諭 ●積水ハウス ●三井不動産リアルティ 他

就職活動日程改訂への対応

▶ 新行事を続々と導入!

2016年卒業(現3年次生)より、経団連「採用選考に関する指針」に基づき企業の採用活動開始が従来の12月から3月へと後ろ倒しされることになっています。これを受け、本学でも従来の支援行事に加え、さまざまな対応に取り組んでいます。



就活準備サマー合宿(2014.9)



エアライン就活合宿(2014.12)



業界パネルディスカッション(2014.10)

3年次生就職ガイダンス	従来の年6回から10回へと拡張し、内容の充実を図りました。
業界・仕事理解セミナー	11月から2月までの間に三部構成に分け、さまざまな業界から延べ30社以上の企業に来学いただき全学年参加型のセミナーを開催しています。また今回初めて複数の企業が一堂に会する「物流業界パネルディスカッション」を開催、大盛況に終えることが出来ました。
合宿研修	従来の「就活サマー合宿」(9月開催)に加え、2月には「直前合宿」を導入、万全の体勢作りを図りました。またエアライン志望者に特化した「エアライン就活合宿」も今回初めて開催しました。
学内合同説明会	新日程に合わせて従来の2月から3月開催に。今回初めて学内と名古屋都心部で日程を変えて二部構成の実施としました。
インターンシップ	従来の夏期研修に加え、冬・春期実施を拡張。新日程の影響もあり、この時期に多くの受入企業が集まっています。

インターンシップ2014夏期研修

▶ 一足先に、社会人!

今年度のインターンシップ夏期研修は、受入企業・団体46、参加学生は2年生・3年生合わせて66名と、受入先数・学生数ともに大変盛況となり、初めて東京地区に2名の学生が参加するなど、新たな試みもありました。

研修は4月の説明会にはじまり、事前ガイダンスを重ね、マナー講座、コミュニケーション講座を経て、夏期休暇中の実習に臨みました。そして、実習後の成果報告会では、各々の体験を発表し合い、他の研修先の情報についても皆で共有することができました。また報告会では18名の学生が運営スタッフとして進行係、司会、タイムキーパーを担当しました。最後に、阿部彰彦担当教授が参加学生に修了証書を手渡し、労をねぎらいました。また、春期インターンシップも例年より多い企業でインターンシップを予定しています。

就職活動日程の変更により、来年からは夏だけでなく冬・春の実施にも力を入れていく方針です。



主な研修先 (2014夏期実績)

- ANA中部空港 ●JTB中部 ●日本旅行 ●ジェイアール東海ホテルズ ●ナゴヤキャッスル ●ヒルトン名古屋 ●中日新聞社 ●中部日本放送 ●東海ラジオ ●FM愛知 ●清水建設 ●SMBC日興証券 ●野村證券 ●豊田信用金庫 ●半田信用金庫 ●第一生命 ●三重交通 ●中央工機 ●名古屋トヨペット ●マリエール山手 ●学情 ●NHK文化センター ●地域活性プランニング ●テンプスタッフ・ピープル ●愛知県 他 全46事業所

インターンシップ参加レポート 研修先:(株)地域活性プランニング(東京)→2014年8/18~8/29



現代英語学科3年 立花 美咲さん

「受け身の姿勢は自分を殺す」。インターンシップを経験し、最も強く感じたことです。二週間の研修中、読者アンケートやロケ地利用数の集計、営業同行や書店回りなど、社内外でさまざまな経験をさせていただきました。雑誌の校正直前にインターンシップを受け入れて下さり、常に

緊張感が溢れていました。その中でも自分の担当業務を通じて成長するためには、自ら行動しなければなりません。「今の話を自分の言葉で説明してみよう」と指導いただいたとき、責任感や主体性が不十分であったことに気がきました。社会人として働く覚悟をしようと思う機会になりました。

資格支援講座

▶ 旅程管理研修とは?

本学開講の各種資格支援講座のうち、今回は「国内旅程管理研修(ツアコン)」について講座担当、JTBサポート中部の阿部様からお話を伺いました。



こんにちは!JTBサポート中部の阿部と申します!皆さん「添乗員」とはどのようなイメージがありますか!?「旅行会社の旗を持ち、団体のお客様を引率している姿」をイメージする方も多いと思います。添乗員の大きな役割に「お客様が楽しんでいただくための演出」があります。通称、ツアーコンダクターと呼ばれるように、まさに「コンダクター」=指揮者。その旅の指揮者となり、お客様の感

動の体験のお手伝いをする、それが添乗員です。

この研修の目標は「資格の取得」はもちろんですが、実践的な旅行業の基本知識、そして添乗の業務を深く学び、最後に実際に現地研修で(ちなみに2015年は京都に行きます!)添乗業務を「経験」する事により、添乗業務を理解し、さらには旅行業全般に関しての大きな「自信」を手にしていただく事を目標とした研修です。

添乗員のみならず、旅行業界に興味のある方!ぜひ受講してください!



1 2014年度の就職環境と大学に求められる人材育成

本年度における企業側の新卒採用環境は、ここ2、3年の景気回復に伴い、採用意欲は高まり、全体として採用数を増やす状況になったといえます。ただし、それぞれの業界によって、目標とする採用増の割合は、「ばらつき」が見られる状況になっており、採用方針は「質重視」という傾向は変わっておらず、「欲しい人材を積極的に採用する」という姿勢では一致しており、厳しさは依然として継続している様相です。

こうした中で、学生側の動きとしては、就職活動への漠然とした不安や危機感を抱きつつも、こうした不安にいたずらに駆られることなく、「自分のやりたい仕事(職種)が出来る会社」を企業選択のポイントとして挙げるようになってきており、自分の身の丈にあった企業へのアプローチを優先させる傾向も継続しています。

企業にとって有為な人材であると同時に、働く本人自身

も満足いく社会人生活享受ができるよう、真に社会人基礎力を備えた学生を目指して、人材育成していくことが肝要と考えています。

2 名古屋学芸大学キャリアサポートセンターの年間行事

本学では『人間教育と実学』という見学の精神に基づき、また、上記のような情勢や就職活動開始時期の後ろ倒し(2016年3月卒業予定者から)となることを踏まえ、各学部・学科での教育カリキュラムの展開に加え、以下のキャリアサポートセンター主催の行事を開催しています。

【社会人基礎力養成プログラム】と【就職活動支援プログラム】の2つのプログラムを柱に構成し、キャリア教育の中心である【就職活動支援プログラム】は、『ステップⅠ』(就活全体像の理解と自己理解)、『ステップⅡ』(就活への目的意識の醸成とモチベーション向上)、『ステップⅢ』(就活の準備・実践)の3つの段階で無理なくステップアップできる内容となっています。

2014年度CSセンター活動計画(全体)

	対象	時期	実施テーマ(太字:新設)	内容等		
社会人基礎力養成プログラム	全学年	4月	進路ガイダンス(1,2年生)	卒業後を見据えた大学での過ごし方		
			基礎力調査	基礎学力テスト(1~2年生必須)・SPI(3年生必須)EQ検査(1年生・3年生必須)		
		5月~	EQスコア向上プログラム	望ましいEQ特性を身に付けるための講習・研修		
		通年	社会人基礎力養成塾(基礎学力向上プログラム)	不得手科目の克服に向けた対策講座など		
	就職活動支援プログラム	1年生	6月	新聞の読み方	日経新聞による新聞の読み方解説	
			5月	時事対策講座(学び方編)	時事問題の基礎と日常生活での学び方	
		3年生(全員)	ステップⅠ(就活全体像の理解と自己理解)	5月	第1回就職ガイダンス	就活スケジュール、心構え
				6月	第2回就職ガイダンス	業界・企業研究
				7月	第3回就職ガイダンス	自己分析(映・デはポートフォリオについて)
			ステップⅡ(就活への目的意識の醸成とモチベーション向上)	9月~10月	就職マインドアッププログラム(1)~(4)	自己分析&コミュニケーション&マインドアップ
11月				第4回就職ガイダンス	進路志望(映・デは自己分析・進路志望)	
11月				第5回就職ガイダンス	【講義編】エントリーシート、履歴書作成	
11月				第6回就職ガイダンス	【実践編】エントリーシート、履歴書作成(実際に記載)	
12月				第7回就職ガイダンス	就活マナー	
12月	印象向上メイク講座(女子学生)【講義編】			【講義編】メイク(学科毎に、私服対応等、業種・業態に応じた内容を充実)		
12月	印象向上メイク講座(女子学生)【実践編】			【実践編】メイク(学科毎に、私服対応等、業種・業態に応じた内容を充実)		
4年生	ステップⅢ(就活の準備・実践)	1月	第8回就職ガイダンス	面接対策		
		1月	第9回就職ガイダンス	グループディスカッション対策		
	映・デ	1月	第10回就職ガイダンス	求人票の読み方		
		未定	ポートフォリオガイダンス	ポートフォリオの重要性と企業が求める視点		
		2月頃	就職活動相談会	個別面談による就活状況の把握と求人情報の提供		
		4年生	4月	サポートガイダンス	就活留意点、遠隔地支援他各種手続き説明 等	
			9/10月	職業適性検査/フォローガイダンス	一般職業興味、適職診断検査	
		3年生(希望者)	11月	就職ファッション対策講座	リクルートウェア対策講座	
				就勝出陣式(直前講座、林修氏講演会)	・CSセンター・リクナビ・マイナビ等による情勢/活動留意点解説 ・林修氏講演会	
			2月~	就勝直前対策合宿~内定までの道のり~	・就職筆記試験対策 ・面接・グループディスカッション対策	
特別面接対策講座	個別要望に対応した面接特訓講座					
随時	グループディスカッション対策講座		個別要望に対応したグループディスカッションの特訓講座			
	職場体験談会		卒業生による就業体験の説明			
8・9月他	業界セミナー/企業セミナー		業界・業種の特徴と職種内容			
	インターシップ研修		専門分野での就業体験			
	11月		内定者懇談会	4年生内定者による就活体験談		
	9月~1月		公務員採用試験対策講座	公務員志望者向け採用試験対策講座		
企業説明会	3年生	3月	合同企業説明会			
		随時	個別企業説明会			

2014年度 就職筆記試験 短期集中合宿 実施報告

▶ 約9割が中堅企業、約6割が大手企業の採用試験に合格できるレベルに!

昨今の就活において、多くの企業が「筆記試験(SPIや一般常識)」を実施しています。目的は企業が求める人材を獲得するためであり、筆記試験で企業が必要とする「基礎能力(言語的理解など)」や「一般常識(時事など)」を持ち合わせているかを判断します。

あわせて、効率的に採用選考を行うために、筆記試験の結果で面接可能人数に絞るという役割(いわゆる「足切り」)もあります。いずれにしても志望企業が筆記試験を課す限り、筆記試験を突破しなければ内定を得ることはできません。そこで、CSセンターではこの現実打ち勝つために、昨年度に引き続き、2014年9月に就職筆記試験 短期集中合宿を実施しました。

この合宿では、民間企業(一部公務員)の試験で多用される「SPI」を中心とした筆記試験を突破することを目的として、様々な講座を開講しました。

結果、参加学生の約9割が中堅企業、約6割が大手企業の採用試験に合格できるレベルに達しました。

2015年度も現2年生を対象として9月に開催を予定していますので、ぜひ参加しましょう!



実施日 2014年3月8日(月)~9日(火) 1泊2日

実施場所 ホテルシーパレスリゾート(豊橋市)

参加者 3年生98名、講師3名、大学教職員3名

合宿講義内容
【1日目】

講義	内容
講義1	常識① 政治・経済・国際・その他(環境・文化など)
講義2	常識② 一般常識系の数学(割合、方程式文章問題、図形)
講義3	数学系共通分野① (濃度、速度、二重の割合、料金割引)
講義4	数学系共通分野② (集合、損益算、仕事算)

常識クイズ大会

【2日目】

講義5	数学系共通分野③ (順列・組合せ・場合の数、確率)
講義6	数学系共通分野④ (表・グラフの読み取り、清算問題、資料解釈、整数問題)
講義7	SPI特有分野 (経路、領域、推論、分割払い)

SPI模擬試験

参加学生の声

- SPI独特のコツを教えてもらえてとてもためになった。
- 集中して受講できる内容だった。
- わかりやすく1人1人説明してもらえてよかった。
- 苦手な塩分の計算など、表を使って解き方を教えて頂けたので、前よりスムーズに解けるようになった。
- スピーディーに解ける解き方を教えて頂けたので、模擬試験でいつもより手応えを感じた。



▶1年生(52回生)対象 必修授業「キャリアデザイン」

短期大学部の就職対策の根幹となるのが、1年生の後期から2年生後期まで開講される「キャリアデザイン」です。これは、教員の他、キャリアサポートセンターも運営を支援し実施されます。ここ数年の就職試験で多く採用されている「グループワーク」や「グループディスカッション」といった採用試験の対策は個人では難しいことから、今年度は株式会社マイナビと協力してグループ

ワークを中心としたプログラムを取り入れました。様々なシチュエーションで、毎回違うメンバーで取り組み、就職活動で活かせるコミュニケーション力の向上を目指しています。就職活動で必要となる常識やマナーなどといった就活スキルを身につけると共に、社会人としてスムーズなスタートを切ることができるよう、社会人基礎力の向上を目指したプログラムとなっています。

学年/期・回数	正規授業	社会人基礎力向上プログラム	
1年 後期	第1回目	オリエンテーション(授業概要 他)	
	第2回目	女性とキャリア(キャリア発達 他)	
	第3回目	キャリアガイダンス①(医療秘書、医療事務職)	
	第4回目		就職活動について
	第5回目		講座オリエンテーション「グループワークの取り組み方」
	第6回目		グループワーク「屋台経営をしてみよう」
	第7回目	キャリアガイダンス②(一般企業での可能性)	
	第8回目		グループワーク「タワーを作る」
	第9回目		グループディスカッション「働く意義を考える」
	第10回目		グループワーク「クロスワードゲーム」
	第11回目	事例検討(課題発見と解決)	
	第12回目	あなたの人生設計は?	
	第13回目	情報収集のテクニック/進路登録	
	第14回目		就職活動の準備(自己分析・履歴書)
	第15回目		就職活動のマナー 手紙の書き方・電話応対
2年 前期	第16回目	最近の医療事情	
	第17回目		面接対策①
	第18回目	採用試験の準備(マナー、コミュニケーション)	
	第19回目		面接対策②
	第20回目	採用試験の準備(面接対策)【個人面接】	
	第21回目	採用試験の準備(面接対策)【個人面接】	
	第22回目		グループワーク「模擬授業を作る①」
	第23回目		グループワーク「模擬授業を作る②」
	第24回目		グループワーク「模擬授業を作る③」
	第25回目		グループワーク「模擬授業を作る④」
	第26回目		振り返りとまとめ
	第27回目		就職活動「夏休みの間にやるべき事」
2年 後期	第28回目	いろいろな組織(組織で働く心構え)	
	第29回目	職業と法	
	第30回目	まとめ・ふりかえり	

グループワーク「タワーを作る」

紙とセロハンテープだけを使って、どこまで高いタワーを作ることができるかをグループごとに競いました。5人1組でグループを作り、「指示を出す人が作業には関わらない人」、「指示に従って作業を行う人」、「残りの備品の量や作業時間を管理する人」等に役割を分けて皆でアイデアを出し合い、グループ内のコミュニケーションの取り方を学びました。

まずは手探りでも作り始めながら考えるグループや、全体像をイメージしてから作成に取り掛かるグループ、作り始めたものの途中で大きく方向転換し始めるグループなど、限られた資材と時間をフル活用し他のグループより高いタワーを作る目的のため活発にコミュニケーションを取る姿が見られました。話すだけでなく作業が入る事でより集中し、学生からも「楽しく取り組むことができた」と好評でした。



子宮頸がんセミナーを開催しました。

「20から30代女性に増える子宮頸がん
～正しい知識を学び、命と子宮を守ろう～」

日時：12月1日(月)17:20～18:50

場所：外国語大学7号館701教室

講演者：水野美香先生(名古屋大学医学部産婦人科)

愛知県がん対策推進計画に基づき、愛知県と本大学の連携セミナーとして女性に特有のがんの講演会を開催しました。今回は子宮頸がんの早期発見・早期治療のためにがん健診の大切さと、大学生に理解を深めていただくことを目的とし、学生、教職員、学外の一般の方を含め130人もの方が参加されました。

講演は、性教育から始まり、ホルモンバランスや、子宮・卵巣の役割を詳しく教えていただき、そのうえで子宮頸がんの主な発生原因は、性交渉によるHPV(ヒトパピローマウイルス)感染であり、誰でもかかる可能性のある身近な病気である

こと、初期症状がほとんど無いので、早期発見にはがん検診が有効であることと、がん検診の内容や、がんが見つかった時の治療法などを学びました。そして子宮頸がんワクチンや、月経不順などの質疑応答がなされました。

講演後のアンケートでは、「正しい知識を学べてよかった」、「検診の大切さを感じた」という声が数多く出されましたが、HPVや子宮頸がん検診の認知度は学生達にとってはかなり低いこともわかりましたので、このような健康セミナーは、若い方のライフプランニングを考えるうえでとても役立つように思えました。



女性を中心に多くの聴講者を集めた子宮頸がんセミナー

私の職場紹介

卒業後、各分野で活躍している先輩たちの仕事ぶりや近況をご紹介します。

成長を目指し、変化への挑戦

株式会社 フジトランスコーポレーション
たけの 嶽野 秀文さん
名古屋外国語大学 国際経営学部国際経営学科(現 現代国際学部 国際ビジネス学科)
2002年3月卒業



社は、「米粒からロケットまで運ぶ」をキャッチコピーに、自社の船舶を所有し、海運・港湾運送事業を柱に物流サービスを提供している総合物流企業です。取り扱い品目は、雑貨、製材品、自動車、自動車部品、航空機部品、プラントなど多岐にわたります。国内は名古屋を拠点として、北は北海道、南は九州 沖縄まで、約20ヶ所の拠点を展開、海外は12ヶ国21拠点を展開しています。当社の強みは、船舶、輸送車両、荷役機材、倉庫等を所有、物流に必要なライセンスを自社グループ内に集約し、複合一貫輸送、国際複合一貫輸送を提供している点です。創業62年、社は「和の精神」を下に、「チーム フジトランス」をテーマとして、グループ従業員のチームワークを最も大切にしています。

私はこの業界の一部を担っている当社に縁あって入社、今年の4月で14年目となりますが、これまで人事異動を2回、3つの部署での業務を経験してきました。それぞれ物流のフィールド、業務内容は異なりますが、「まず、やってみる」の精神を大切にしています。事業展開や社内制度等、特に変化が必要とされる時こそ、能動的に自ら関わり、自分の役割を考え実践することから、学べるのが沢山あると思います。今後、新たな変化を成長のチャンスとして、社内外問わず積極的に取り組んでいきたいと思っています。

学生にとって、港湾運送事業と聞いてその業態のイメージが付く人は少ないと思います。私もその一人でした。この業界を知ったきっかけは、在学中に受講した業界研究講座です。名古屋港の港運業者の方が来学、業界説明をされ、その中で最も印象深い言葉は、「日本の輸出入貨物の99%以上(重量換算)は、船を使用した海運で輸送されている」でした。港湾運送事業は、これらの貨物を港で積み降ろしする際に必要な事業で、とりわけ、東海地区の製造業を背後地とする名古屋港は貿易規模が大きく、貨物取扱量は、平成14年から12年連続国内1位となっています。

取得する際に得た“総合的な食品の知識”です。知識、経験に無駄なことはないと感じており、現在も日常業務や会社の先輩から学ぶ姿勢を忘れないように心掛けています。

当社に入社できたのは、在学中 就職活動時に困った際、私が卒業研究先で出会った管理栄養士の先生に相談したことがきっかけでした。人との出会いを大切にし、素直に誰かに頼ることが今に繋がっていると思っています。



開発の仕事は誰もがができるものではないと考えています。なぜならば、食品に対する幅広い知識が必要となること、また、目的の風味を表現するためには数十回と試作を繰り返す忍耐力も必要となるからです。しかし、「自分が理想とする味を追究したい」とそのような思いを持っている人は、この仕事に向いていると思います。

後輩の皆さんが“自分が理想とする味”に巡り会えることを楽しみにしています。

目的の味や香りを表現するため、試行錯誤の日々

東海物産株式会社 研究部 食品開発センター
山内 康平さん
名古屋学芸大学 管理栄養学部 管理栄養学科 2011年3月卒業

私が勤務している東海物産株式会社は業務用調味料の製造・販売を行う企業です。調味料と聞くと「砂糖・塩・酢・醤油・味噌」をイメージするかもしれませんが、加工食品向けの調味料として、鶏や野菜のだしからデミグラスソースの様な高度に加工した調味料まで幅広い製品があります。私は開発員として、調味料の味づくりを担当しています。目的の味や香りを表現するため、日々原料配合を考え、ターゲットのニーズを意識して試行錯誤を重ねます。

また、製品を売り込む方法を考えるのも開発業務の一つです。ユーザーがより分かりやすいように、人気店の味を当社の調味料を使用して再現し 提案します。提案の仕方一つによって評価が変わる場合もあり、創意工夫が必要となります。

開発業務を行う上で役立っているのが、在学中レストランでアルバイトをした時の経験・技術や、管理栄養士資格を

患者さまひとりひとりに合わせた対応心掛け

たんぼぼ薬局株式会社
横山 紗希さん
名古屋学芸大学短期大学部 現代総合学科 メディカル秘書モデル 2014年3月卒業

私は、2014年3月に名古屋学芸大学短期大学部を卒業した後、たんぼぼ薬局株式会社に入社し、岐阜の店舗でMS(メディカルスタッフ=医療事務)として働いています。たんぼぼ薬局のほとんどの店舗は総合病院の門前に構えており、地域の方々の「かかりつけ薬局」として、地域医療と患者さまの健康のサポートを行っています。MSの仕事は、処方箋の受け取り、処方箋内容の入力、レセプト請求など調剤薬局事務としての業務の他に、売上金やOTC(健康食品など店舗で販売している商品)の管理、薬剤師の業務の補助など、幅広く業務を行っています。

入社した当初は右も左もわからず、戸惑ってばかりの日々を送っていましたが、自分も保険やレセプトの知識を深めたいと考え、短大の授業で使ったテキストをもう一度勉強し直したりしました。その結果、患者さまから保険や公費のことについて尋ねられ、自分の言葉で説明して理解して頂けた時は勉強した甲斐があったと嬉しくなりました。保険の点数は2年に一度改正があったり、公費の制度が新しくなったり、診療報酬の制度は常に変わっていくので、私も

実家の和菓子店をリニューアルオープン、さらに2店舗目も開業!

EISENDO品野店・印場店 オーナーシェフ
伊藤 俊男さん
名古屋製菓専門学校 洋菓子科 2001年3月卒業

実家の和菓子屋「榮泉堂」(瀬戸市)の4代目として8年前にあとを継ぎ、洋菓子店にリニューアルし、そして2013年には尾張旭市東印場町に2店舗目をオープンしました。

オープン時、品野は瀬戸市の中心地から離れた場所なので、何か目玉商品がないといけないと思い、人気商品となるロールケーキを考えました。数か月間かけて何度も試作を重ねて、しっとりとした生地と生クリーム、カスタードクリームというシンプルな構成の、「品野ロール」を完成させました。テレビや新聞などでも取り上げられ、1日150本ほど売上げる人気商品になりました。ただ、それだけに肩入れしてはいけないと思い、他のケーキにも力を入れ、他店との差別化を図るよう努めています。お店に並んでいるケーキは全て手作りで、修行先の、横浜で有名なデフェールで培った技術を活かして店を盛り上げています。

に学ぶことを忘れず努力していきたいと思えます。



MSは店舗の顔であり、患者さまが店舗に入って一番最初に接する立場です。いつも服用しているお薬をもらいに来られる方、急に熱が出て解熱剤をもらいに来られる方、病院の診察に待ち疲れていらっしゃる方、薬の飲み合わせの相談に来られる方、様々な方がいらっしゃいます。患者さまひとりひとりに合わせた対応は難しいことですが、いらっしゃる患者さまの名前、顔を出るだけ覚えようという心がけています。受付の印象が悪くは、どんなに薬剤師が親身になって説明しても、2回目は来てもらえないかもしれません。患者さまのかかりつけ薬局として選んで頂くにはどうしたらよいかを常に考え行動していけたらと思います。

紙レセプトが電子レセプトに変わったなど、昔に比べMSの仕事の負担が軽くなったことから、最近では医薬品の在庫管理など、出来る範囲で薬剤師の支援業務も担当することが多くなりました。薬剤師がより患者さまとの距離を縮められるためのサポートを進んで行えるよう、まずはMS業務をマスターし、患者さまからも薬剤師からも信頼されるMSになれるよう常に向上心を持って働いていきたいです。



遠方からわざわざ来て下さるお客様も多く、充実した日々を送っています。開業した、学校の同期生の活躍もとても励みになっています。

また今では従業員が製造8名販売常時4~5名います。母校の後輩もたくさん働いてくれています。彼らは将来お店をやることを目指してきているので、未永く愛されるような商品を作っていかなければなりませんし、コンテスト等にも積極的に挑戦できる環境を作っていかなければいけないと思っています。常に全員が高いモチベーションを持って働ける店作りを目指しています。

NUFS OPEN CAMPUS

2014

名古屋外大のすべてVol.1・2

☀ 留学と就職に強い名古屋外大の魅力を発信!

2014年7月27日(日)、8月24日(日)に名古屋外国語大学においてオープンキャンパス「名古屋外大のすべてVol.1,2」が開催されました。7月は、過去最高の参加者(約2,900人)が来場し、翌8月も約2,500人を超える参加者の来場で大いに盛り上がりました。7月・8月に行われたオープンキャンパスは、留学イベントをはじめ、模擬授業、学科イベント、入試情報説明会、またキャンパスツアーやクラブ発表など、さまざまなイベントを通して、受験を控えた高校生たちに名古屋外大のすべてを知ってもらいイベントになりました。特に「留学イベント」では立ち見ができるほどの賑わいでした。エアラインイベントの人気も高く、キャビンアテンダントやグラウンドスタッフとして活躍している卒業生が、実際の仕事内容をはじめ、学生時代をどう過ごしたかなどをトークライブ形式で行い、高校生はもちろん保護者の方々も熱心に耳を傾けていました。また、2015年4月に開設する「世界教養学科」の

イベントにも、多くの高校生や保護者が参加しました。8月24日(日)のオープンキャンパスでは、エアライン業界研究グループに所属する学生が、実際の離陸から着陸までを再現した「模擬フライト」を実施し、昨年同様予約の段階で満員となる盛況ぶりでした。また、河合塾の人気講師による入試対策講座「英語」を受験生対象に実施しました。今回、昼食に配布したお弁当は姉妹校の名古屋学芸大学・管理栄養学科の学生がレシピを作成し、デザイン学科の学生がのし紙をデザインしたお弁当で姉妹校のPRを担いました。そのほか、入試・学生生活・留学・就職・教職の個別相談と「ネイティブスピーカーと話そう」コーナーは終日開催され、いずれも多くの高校生や保護者の方々を訪れました。

(総動員数 7月2,950人 8月2,562人)

企画 PICK UP

● 留学イベント |

留学を経験した在学生の体験談を通じて、留学を身近に感じるイベントで「ディズニー国際カレッジコース」「ヒルトン系リゾートコース」を含む、中部地区唯一の「UCR特別留学」の体験談や「留学費用全額支援」制度の内容説明などを1日2回開催しました。



● エアライントークライブ |

現役のCA(キャビンアテンダント)・グラウンドスタッフとして活躍する卒業生が、実際の仕事内容や、学生時代をどう過ごしたかなど、トークライブ形式で紹介しました。

● 名古屋外大生の未来 ~卒業生トークライブ~ (8月24日(日)のみ開催) |

本学で培った語学力や長期留学などで得た国際力を、実社会で活かしている卒業生がトークライブ形式で紹介しました。また国際社会へ羽ばたくための就職活動に関する本学独自の取り組みも紹介しました。

● キャンパスツアー |

国際色豊かなキャンパスを在生学生がご案内。学習施設や国際交流スペース、ランチスポットなど学生の視点から紹介しました。



● 個別相談(エアライン相談) |

航空業界で活躍する卒業生や内定者から直接話を聞くことができ、参加者にとって貴重な経験になりました。



● ネイティブスピーカーと話そう |

ネイティブスピーカーとのコミュニケーションが楽しめる人気コーナー。来場した高校生が外国人教員や留学生との英会話を楽しみました。



NUAS Live 2014

名古屋学芸大学のすべてVol.1・2 入試相談会 & キャンパス見学会

★★ 自分の未来がイメージできる
★★ 体感型オープンキャンパス、開催!

名古屋学芸大学・同短期大学部では、2014年6月15日(日)、7月13日(日)にオープンキャンパス「名古屋学芸大学のすべて-NUAS Live2014-」、そして8月30日(土)に「入試相談会 & キャンパス見学会」と、3回のイベントを開催しました。キャンパスナビゲーターの熱心な協力も支えとなり、各日とも終日賑わいを見せました。イベントの合計参加者数は計約4,300人、昨年と比較して参加者数は約1,000名増加しました。

昨年は7月と9月にオープンキャンパスを実施しました。今年は体験型のAO入試が昨年より導入されたこともあり、早期から名古屋学芸大学を知って頂くことを目的として6年振りに6月に実施を行いました。

6月・7月のオープンキャンパスでは各学科・短期大学部が体感授業やミニ講義、在学生による発表・展示、学科ごとに卒業生を招いた「キャリアイベント」を開催。参加者たちはそ

れぞれ濃密な時間を過ごしました。また、当日は管理栄養学科の在学生がメニューを考案し、名古屋の老舗仕出し専門店 八百彦本店が製造、パッケージをデザイン学科の在学生が手掛けたオリジナルのお弁当も配布され、沢山の参加者からご好評を頂きました。

8月の「入試相談会 & キャンパス見学会」は、午後からの開催にも関わらず約1,500人の参加者で賑わいました。初の試みとなったこのイベントでは、オープンキャンパス同様、展示ブースや学科紹介をはじめ、保護者説明会、入試情報説明会、個別相談を開催。キャンパスの施設・設備を自由に見学できる形式を採用。参加者は、プロ仕様の設備機器や施設に関して、学科の教員・キャンパスナビゲーターから説明を受け、興味津々として聞き入っていました。



名古屋学芸大学 学科企画 PICK UP



管理栄養学科 体感授業 『牛乳タンパク質をとりだしてみよう!』

たんぱく質の特殊な特性を利用して、牛乳の中の栄養価の高いたんぱく質(カゼイン)をとりだしてみました。

体感授業 『あなたのコマは回ってる? 食事バランスガイドで確認してみましょう』

管理栄養士を目指すなら、まずは自分の食事を知ることが大事です。自分の食事バランスを確認し改善点を見つけました。学生が開発した食事診断ソフトの展示もしました。

**子どもケア学科
子どもケア専攻
養護教諭コース**

ミニ演習 『ファーストエイド・包帯法って何だろう』

養護教諭を目指す先輩たちと包帯法にトライしながら、バイスタンダーとして子供達にも身につけて欲しい包帯法を学びました。



展示・自由開放 『健康チェックをしよう!』

在学生が、正しい検査・測定方法について解説。身長、体重、座高、視力、肺活量、握力などを測定しました。

**子どもケア学科
子どもケア専攻
子ども心理コース**

ミニ講義 『女と男のすれ違う心と脳』

男女のコミュニケーションや愛情表現の違いを心理学と脳科学の観点から解説しました。



ミニ講義 『認定心理士の資格について』

学科で取得できる心理学に関する代表的な資格「認定心理士」の取得方法などについて紹介しました。

**子どもケア学科
幼児保育専攻**

ミニ演習 『カラフルなアロマ石鹸をつくろう!』

粘土遊びとごっこ遊びを体験しながら、手を洗うのが楽しくなるカラフルな石鹸を作りました。



体感授業 『乳児の保育室で遊ぼう』

乳児の保育室で大学生が作成した『大型布芝居』を演じました。

映像メディア学科 体感授業 『サウンドー音響効果を体験しよう!』

映画やドラマを彩る音響効果の世界を、普段学生たちが学ぶ環境で体感しました。



体感授業 『フォトフィルムカメラを使って写真機の構造を知ろう!』

フィルムカメラを使って、シャッター速度や絞りなどの露出の仕組みを学びながら映像の原点を体験しました。

デザイン学科 学科企画A 『じぶんいろ』

自分の好きな色や当日もっているモノの色などをもとに配色パターンを作成し、自分だけのオリジナルグッズを作りました。

体感授業B 『これは噂の3Dプリンターですか?!』

簡単な講義の後、授業で実際に使う3Dプリンターで、自分の肖像入りのキーホルダーを制作しました。

ファッション造形学科 体感授業 『チャレンジ!!シルバリング』

指のサイズを確認して、形を整えリングをピカピカに磨いてオリジナルリングを完成させました。

ファッションショーの舞台裏! - NUAS COLLECTION2013 -

学芸最大級のイベント「NUAS COLLECTION」。ファッションショーができるまでのドキュメンタリー映像と本番のステージを同時に観ながら、ショー制作と作品制作の魅力を体感しました。

名古屋学芸大学短期大学部 学科企画 PICK UP

現代総合学科 養護教諭コース 体感授業 『養護教諭が行う健康診断の実際』

子ども達の心と体の訴えに耳を傾け、どのように声をかけをすればよいかを考えてみました。

展示: 教科書、教材、年間の学習生活等

養護教諭になるために必要な開講科目のテキストや使用している教材、学生の作品、学習の状況を展示しました。

現代総合学科 メディカル秘書コース 体感授業 『卒業生・在学生が語るメディカル秘書コース』

医療現場で活躍する卒業生や、病院実習を体験した在学生から大学での講義や研究、卒業後の職場生活などについて詳しく話を聞きました。

メディカル秘書コース 紹介教室

様々な体験コーナーや資格試験の紹介コーナーを設置し、メディカル秘書コースの学びを体感しました。

TOPIC

AO入試Ⅱ【文章理解・表現型】スタート! 「メディア造形学部入試情報説明」
管理栄養学部、ヒューマンケア学部の前期入試に新たに「3科目型」を導入
「管理栄養学部・ヒューマンケア学部入試情報説明会」(6月)

2015年度入試の主な変更点を中心に、詳しい説明をしました。

TOPIC

卒業生によるトークライブ
「キャリアイベント」

学科ごとに卒業生を招いた「キャリアイベント」を実施。学生時代のキャンパスライフや現在の仕事内容についてなど、卒業生のリアルな声を聞く事ができました。

TOPIC

推薦入試と一般入試の詳細を説明
「入試情報説明」(8月)

「推薦入試」および「一般入試」の各入試方式の違いや受験科目、新・検定料制度『ネット出願フリーパス』について詳しく説明しました。

入試のポイント

名古屋外国語大学 2015年度 学生募集要項

名古屋外国語大学の2015年度入試の主な変更点は、次のとおりです。

- ①外国語学部世界教養学科が新設されました。
- ②外国語学部英米語学科に英米語専攻と英語コミュニケーション専攻の2専攻が設置されました。
- ③新たな試験区分として特別選抜Ⅲアジア事情探究型(自己推薦入試)および特別選抜Ⅲグローバル人材志向型(自己推薦入試)が実施されます。

募集学科・専攻・募集人員・入試日程

試験区分	募集学科・専攻・人員(名)										日程			
	英米語 英米語	英語教育 英語コミュニケーション	フランス語	中国語	日本語	世界教養	国際ビジネス	現代英語	国際教養	出願期間	試験日			
推薦入試	一般公募推薦	90	45	14	26	20	20	45	45	45	45	[ネット・郵送] 10/20(月)~10/29(水)	11/8(土)	
	指定校推薦											[郵送のみ] 10/29(水)~11/6(木)	11/15(土)	
一般入試	前期A方式	25	10	5	6	5	5	10	10	10	10		2/3(火)、2/4(水)	
	前期M3方式	16	8	4	6	5	5	8	8	8	8	[ネット・郵送] 1/7(水)~1/22(木)	2/1(日)、2/2(月)	
	前期M2方式													
	前期プラスセンター方式	14	7	3	5	4	4	7	7	7	7		—	
	後期	8	5	2	3	2	2	5	5	3	3	[ネット・郵送] 2/17(火)~2/24(火)	3/6(金)	
	センター利用	前期(3教科)	14	8	3	4	4	4	8	8	8	8	[ネット・郵送] 1/7(水)~1/22(木)	1/17(土)、1/18(日) <大学入試センター試験日> 個別学力試験は実施しない
		前期(5教科)	8	4	3	4	4	4	4	4	4	4		
後期(2教科)		5	3	2	2	2	2	3	3	3	3	[ネット・郵送] 2/17(火)~3/9(月)		
特別選抜Ⅰ 英語等有資格型 (自己推薦入試)	10	5	4	4	4	4	5	5	5	5		10/4(土)		
特別選抜Ⅱ 国際社会志向型 (自己推薦入試)	10	5	若干名	若干名	若干名	若干名	5	5	5	5		10/5(日)		
特別選抜Ⅲ アジア事情探究型 (自己推薦入試)	—	—	—	—	若干名	—	—	—	—	—		[ネット・郵送] 9/1(月)~9/10(水)	9/28(日)	
特別選抜Ⅳ 発信コミュニケーション型 (自己推薦入試)	—	—	—	—	—	若干名	—	—	—	—			9/28(日)	
特別選抜Ⅴ グローバル人材志向型 (自己推薦入試)	—	—	—	—	—	—	若干名	—	—	—			9/27(土)	
海外帰国生徒特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	[ネット・郵送] 9/1(月)~9/10(水)	10/12(日)	
外国人留学生特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	[郵送のみ] 1/5(月)~1/13(火)	2/17(火)	
合計	200	100	40	60	50	100	100	100	100	100	100	—	—	
第3年次編入学	英米語学科として 若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	—	若干名	若干名	—	—	—	[郵送のみ] 6/27(金)~7/4(金)	7/12(土)	

試験科目 *平成27年度大学入試センター試験の成績に限る

試験区分	試験科目(概要)	
推薦入試(一般公募推薦)	適性検査Ⅰ(英語:リスニングあり)、適性検査Ⅱ(国語)、調査書等	
前期A方式	英語(リスニングあり)・国語(古文・漢文を除く)・選択科目(日、世、数から1科目)	
前期M3方式	英語(リスニングなし)・国語(古文・漢文を除く)・選択科目(日、世、数から1科目)	
前期M2方式	英語(リスニングなし)・選択科目(国語(古文・漢文を除く)、日、世、数から1科目)	
前期プラスセンター方式*	本学試験科目:前期A方式の英語(筆記のみ)、前期M3方式・M2方式の英語 センター試験利用科目:2教科各1科目(科目指定あり)	
後期	英語(リスニングなし)・国語	
センター利用*	前期(3教科)	外(英(リスニング含む)・仏・中)・国(古文・漢文を除く)・選択科目(地歴、公、数、理から1科目)
	前期(5教科)	外(英(リスニング含む)・仏・中)・選択科目(国(古文・漢文を除く)、地歴、公、数、理から4教科各1科目)
	後期(2教科)	外(英(リスニング含む)・仏・中)・選択科目(国(古文・漢文を除く)、地歴、公、数、理から1科目)

名古屋学芸大学 2015年度 学生募集要項

名古屋学芸大学の2015年度入試の主な変更点は次の通りです。

- ①体験型AO入試をAO入試Ⅰ(体験型)へと名称変更し、新たにAO入試Ⅱ(文章理解・表現型)を実施します(メディア造形学部特別選抜(自己推薦入試)は廃止)。
- ②前期入試において、新たに管理栄養学科と子どもケア学科を対象とした3科目型を設定します。

募集学科・専攻・コース・募集人員・入試日程

試験種別	募集学科・専攻・コース・人員(名)							日程			
	管理栄養	子どもケア (看護教養コース)	子どもケア (子どもケアコース)	幼児保育	映像メディア	デザイン	ファッション	出願期間	試験日		
推薦入試(指定校推薦・一般公募推薦)	64	24	16	48	34	28	24	●指定校[郵送] 10/29(水)~11/6(木) ●公募[ネット・郵送] 10/10(金)~10/22(水)	●指定校 11/16(日) ●公募 11/1(土)		
一般入試	前期(2科目型)	30	11	8	26	18	14	12	●ネット・郵送 1/7(水)~1/23(金)	●2/6(金)・7(土) ●2/8(日) 本学 ●2/8(日) 本学	
	前期(3科目型)	10	4	2	4	—	—	—			
	前期プラスセンター	12	4	2	9	5	4	3			
	センター利用	前期(2科目型)	12	4	2	9	8	5	5	●ネット・郵送 2/16(月)~3/9(月)	●1/17(土) ●1/18(日) ●個別学力試験なし
		前期(3科目型)	10	3	2	6	—	—	—		
		後期	3	2	2	3	2	2	2		
後期	3	2	2	3	3	3	3	●ネット・郵送 2/16(月)~2/23(月)	●3/4(水)		
特別選抜(自己推薦入試)	16	6	4	12	—	—	—	●ネット・郵送 9/1(月)~9/12(金)	●9/28(日)		
AO入試Ⅰ(体験型)	—	—	—	—	15	12	11	●エントリー期間: [郵送] 8/22(金)~8/29(金) ●出願期間: [郵送] 9/12(金)~9/18(木)	●体験授業: 7/20(日) ●面接: 9/6(土)		
AO入試Ⅱ(文章理解・表現型)	—	—	—	—	15	12	10	●ネット・郵送 9/1(月)~9/12(金)	●9/28(日)		
海外帰国生徒特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	●[郵送] 10/7(火)~10/17(金)	●11/1(土)		
社会人特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名				
合計	160	60	40	120	100	80	70	—	—		
3年次編入学(指定校推薦)	ヒューマンケア学部	—	若干名	—	—	—	—	●[郵送] 8/22(金)~8/29(金)	●9/6(土)		
3年次編入学(一般公募)	メディア造形学部	—	—	—	—	若干名	若干名	●[郵送] 6/27(金)~7/4(金)	●7/12(土)		
3年次編入学(一般公募)	ヒューマンケア学部	—	若干名	—	—	若干名	若干名	●[郵送] 10/7(火)~10/17(金)	●11/1(土)		

試験科目 *数学・理科の学習指導要領への移行に関わる事項については各募集要項を参照 *社会人・海外帰国生徒特別選抜及び第3年次編入学の試験科目については各募集要項を参照

試験種別	学科・試験科目(概要)				
	管理栄養学科	子どもケア学科	映像メディア学科	デザイン学科	
推薦入試(一般公募推薦)	●適性検査 化学基礎・生物基礎から1科目 ●面接 ●調査書	●適性検査 国語総合(古文・漢文除く)・英語・英語II(リスニング除く)から1科目 ●面接 ●調査書	●適性検査 個性プレゼンテーション・国語総合(古文・漢文除く)から1科目 ●面接 ●調査書	●適性検査 鉛筆デッサン・国語総合(古文・漢文除く)から1科目 ●面接 ●調査書	
管理栄養学部・ヒューマンケア学部特別選抜(自己推薦入試)	●適性検査 国語の読解力 ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書)	●適性検査 国語の読解力 ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書)	—	—	
AO入試Ⅰ(体験型)	—	—	●体験授業 ●書類審査(エントリーシート・調査書) ●課題 ●面接	—	
AO入試Ⅱ(文章理解・表現型)	—	—	●適性検査 国語の読解力 ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書・事前課題<自己表現ドキュメント>)	●適性検査 国語の読解力 ●面接 ●書類審査(調査書・志望理由書・自己推薦書)	
一般入試	前期(2科目型)	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●数学・化学基礎・生物基礎から1科目	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・日本史・世界史・生物基礎から2科目 ※国語・英語は1科目以上必須	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学から2科目	【デッサン型】●鉛筆デッサン●国語(古文・漢文除く)●英語(リスニング除く)から1科目 【一般科目型】●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学から2科目
	前期(3科目型)	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●数学・化学基礎・生物基礎から1科目	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・日本史・世界史・生物基礎から1科目	—	—
	前期プラスセンター	<前期>●数学・化学基礎・生物基礎から1科目 <中>●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 <後>●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目	<前期>●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 <中>●数学・世界史・日本史・地理・化学・生物から1科目	<前期>●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から2科目 <中>●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から1科目	<前期>【デッサン型】●鉛筆デッサン【一般科目型】●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から2科目 <中>●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から1科目
	前期(2科目型)	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●化学・生物から1科目	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●公民・理科から2科目 ※国語または英語を含む2教科2科目	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から2科目 ※地歴と公民の組み合わせは不可	—
センター利用	前期(3科目型)	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●数学・化学・生物から2科目	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から3科目 ※国語または英語を含む3教科3科目。地歴と公民の組み合わせは不可	—	—
後期	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●数学・化学・生物から1科目	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から2科目 ●公民・理科から2科目 ※国語または英語を含む2教科2科目	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)・数学・地歴・公民・理科から2科目 ※地歴と公民の組み合わせは不可	—	—
後期	●国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から1科目 ●化学基礎・生物基礎から1科目	●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く)	●鉛筆デッサン・国語(古文・漢文除く)・英語(リスニング除く)から2科目	●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く)	

名古屋学芸大学短期大学部 2015年度 学生募集要項

募集学科/コース 現代総合学科/メディカル秘書コース・看護教諭コース

募集人員・入試日程・試験科目 *数学・理科の学習指導要領への移行に関わる事項については各募集要項を参照

試験種別	募集人員(名)		出願期間(郵送のみ)	試験日	試験科目(概要)
	メディカル秘書	看護教諭			
推薦入試	38	22	10/7(火)~10/17(金)	11/2(日)	●面接 ●調査書 ●面接 ●調査書 ●適性検査(看護教諭コースのみ) 国語総合(古文・漢文除く)
一般入試	前期	15	1/7(水)~1/23(金)	2/6(金)・2/7(土)	●国語(古文・漢文除く) ●英語(リスニング除く)
	センター利用	5		1/17(土)・1/18(日)	●国語(古文・漢文除く)・地歴・公民・数学・理科・外国語(リスニング除く)から2科目 ※地歴と公民の組み合わせは不可
	後期	2		2/16(月)~2/23(月)	3/4(水)
海外帰国生徒特別選抜	若干名	若干名	10/7(火)~10/17(金)	11/2(日)	●面接 ●書類審査 ●適性検査(看護教諭コースのみ) 国語総合(古文・漢文除く)
社会人特別選抜	若干名	若干名			●面接 ●書類審査 ●小論文(1,200字)
有資格者(看護師)特別選抜	—	若干名	1/7(水)~1/23(金)	2/6(金)	●面接 ●書類審査 ●小論文(1,200字)
合計	60	40	—	—	—



アートセミナー&Book Party 開催

2014
12/4

アートセミナー

テーマ

「知って楽しむ美術入門」

ボストン美術館“華麗なるジャポニズム展”を中心に



フリーライターの佐藤晃子氏から、絵の背景を探ることの楽しさ、ミステリー小説のように絵を読み解くことの面白さを教えていただきました。参加者の感想として、多くの方が「ディスクリプション(description)という手法に興味を引かれたようでした。

※ディスクリプションとは、1枚の絵を見て、そこに描かれているものを文章に書き起こす作業。意識して「見る」ことで作品をより深く認識することができます。

Book Party

テーマ

「発見!アートな本」



Book Party は、テーマにそったお勧め本を持ち寄り楽しく紹介しあう会です。ビブリオバトルのように優劣をつけるものではなく、気軽に参加できる点が好評です。2014年度第2回BookParty は、5つの大学の学生・教職員25名で「これはアートだ!」と感じた本を紹介しあいました。



小説、写真集、絵本、図録など広い分野の本が出されました。あれもこれも読んでみたい!との声や、興味がひろがり楽しかったと次回を期待する感想もいただきましたので、2015年度も実施する予定です。本好きな皆さんの参加をお待ちしています。



図書館5F展示ホール

東海道五拾三次展

期間 2014年7月3日~11月18日



本図書館が所蔵している歌川広重『保永堂版東海道五拾三次』の復刻木版画(毎日新聞社刊)の展示を行いました。2週間ずつ作品を入れ替え、出発地の日本橋から到着地の京都まで全55図を順に紹介しました。

Art Goût Beauté展

期間 2014年12月1日~12月20日



本図書館が貴重書として所蔵しているフランスのファッション誌『Art Goût Beauté(アール・グー・ボーテ)』(1921年創刊)の展示を行いました。名古屋学芸大学短期大学部名誉教授・中西富美子先生のご協力で、先生が製作なさったアール・デコ様式の衣装が展示に彩を添え、当時の華やかなファッションの雰囲気会場全体を覆いました。なお、会期中の12月4日(木)には、同じく5階フロアでアートセミナーとBook Party が開催され、参加者にもその一端に触れていただくことができました。



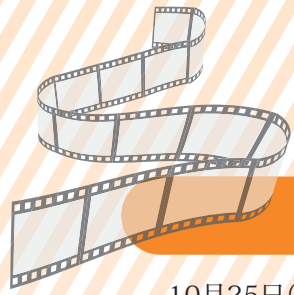
図書館に“四つ葉文庫”ができました

これまで「共同図書」として皆さんに利用していただいていた図書館1階の「共同図書」コーナーは内容の見直しを行い、2014年10月より「四つ葉文庫」としてリニューアルしました。図書を「社会」「学際」「人文」の3つの分野にわけ、各分野を体系的に捉えることができるように配架しています。



四つ葉文庫の「四つ葉」には3分野+あなたの新たな興味・発見という意味、名古屋外国語大学+名古屋学芸大学+名古屋学芸大学短期大学部+あなた、という意味を込めました。ぜひご利用ください。





『月世界旅行』上映会

10月25日(土)図書館1階で、ヤニック・ドゥブラド先生(名古屋外国語大学・フランス語学科)の解説&日本語通訳付『月世界旅行』上映会を行いました。



[解説] ヤニック・ドゥブラド先生
[通訳] 山田優歌さん(外大・フランス語学科)



本学学生・教職員や一般の方等、
40名以上の参加がありました。



上映会のポスターはMLCサポーターが
作成しました。



MLCサポーターが、上映会の
案内チラシを配布しました。



図書館1階で関連図書の
展示を行いました。

MLC 第5回MLC映画祭

10月13日~11月14日、MLCサポーターのお勧め作品で人気投票を行いました。

投票
結果

- 1位 (11票) ●●●● 『僕たちは世界を変えることはできない』
- 2位 (8票) ●●● 『カイジ』、『デスノート』
- 4位 (7票) ●●● 『ツナグ』、『ローマの休日』、『アリス・イン・ワンダーランド』
『名探偵コナン工藤新一：京都新撰組殺人事件』



MLC 学習サポート

2012年 11月から学生スタッフが自習のコツを教える取り組みを始めました。3年目となる 2014年度は 300名以上が参加しています。興味がある人はぜひ一度ご参加ください。

内容

英語・中国語・フランス語のCD付資料を使った発音練習
映画を使った Listening&Vocabulary学習
Photoshop&Illustrator初歩的テクニック習得サポート

参加者

- 2012年度後期 (11月7日~1月11日): 13名
- 2013年度前期 (5月22日~7月19日): 42名
- 2013年度後期 (10月1日~1月22日): 37名
- 2014年度前期 (5月12日~7月14日): 175名
- 2014年度後期 (10月1日~1月14日): 149名



中国語対応の学生スタッフ: 方捷さん
(外大・日本語コミュニケーションコース)

発音・会話の指導に興味があるので、この仕事を始めました。母語話者と直接に話し、もっと中国語の練習をしたい方はぜひMLCに来てください!

わが町日進

COLUMN

岩崎城にかかわる三つの戦い

岩崎城歴史記念館長 田中 義和

PROFILE

略歴: 昭和11年生まれ。岩崎城歴史記念館長。
長久手市文化財保護審議会会長。
前日進市文化財保護審議会会長。
著書: 『歴史物語 長久手の戦い』『長久手町史本文編(共著)』
『豊明・日進・東郷・長久手今昔写真集(共著)』など

いまやすっかり日進のランドマークとなった感のある岩崎城天守閣。昭和62年に完成した、この模擬天守の聳える岩崎城址公園を訪れる来園者も年間かなりの数にのぼります。

岩崎城址とあるように、ここは15世紀末から16世紀前葉に築城され、慶長5年(1600)廃城となった岩崎城があったところです。戦国末期から近世初頭にかけての時代、尾張国と三河国の境に接する位置にある岩崎の地は、尾張、三河双方にとって勢力の拡張を図る上では確保せねばならない地域であり、また、拳母街道、伊保街道、明知街道が合流する要衝の地でもあったわけです。

文献によれば、岩崎城は織田信長の父・織田信秀(1511~1551・1552説も)が築城し、家臣荒川頼宗(頼乗とも)に将兵300人を預けて守らせていたとされます。

享禄2年(1529)、三河の松平清康(徳川家康の祖父・1511~1535)は約7000の兵を率いて岩崎城を囲みました。そして、あらかじめ城中に潜ませておいた忍びの者が夜陰に乗じて城門を開き、松平勢を城内に引き入れたのです。城兵はよく応戦したものの、不意を突いた夜襲にはかなわず、ついに落城、守将荒川頼宗は討死したとも落ちのびたともいわれています。この戦いは「享禄(岩崎)の戦い」と呼ばれています。

天文4年(1535)、清康が守山城で誤殺されて松平氏の勢力が衰退したのに乗じ、翌5年頃、本郷城(日進市本郷町)城主であった丹羽氏清は岩崎城に入って日進一円を治めることとなります。

氏清には藤島城城主の丹羽右馬允氏秀という従兄弟がいました。氏秀と宗家である岩崎城丹羽氏(当主は氏清嫡子の氏識)との間に確執が生じると、氏秀は援けを織田信長に乞いました。天文20年(1551)、信長は求めに応じ、兵を率いて横山(日進市岩崎町)の辺りまで進攻し、岩崎城を衝かんとしました。氏識は父氏清に城を守らせ、自らは子氏勝と横山麓の林に兵を伏せて、信長勢の背後を襲い、これを敗退させたといわれています。これが「横山の戦い」といわれているもので、藤島城主丹羽氏秀は三河広見城主中條将監を頼って逃亡し、岩崎城主丹羽氏は市内一円から東郷町や長久手市までを治める在地開発領主と発展していったのです。

この横山の戦いについては、丹羽家側の史書には記述があるも

の、織田信長の事績を記す史料には記録がありません。ただ、岩崎城の置かれた地政学的な位置もあり、この後も丹羽氏は織田・松平両氏の間で均衡を保っていましたが、横山合戦に意を含まれるところがあつたようで、桶狭間合戦以後の織田・松平両氏対立の時期には、松平元康(徳川家康)に与して、三河国に三カ村を拝領しています。

天正12年(1584)、小牧・長久手の戦いの戦端が開かれ、小牧に拠る徳川家康・織田信雄(信長二男)連合軍と楽田に拠る羽柴秀吉が鋭く向き合いました。戦況が長びくとみた秀吉は、家康本願の地、三河岡崎攻撃の策を講じ、甥の三好秀次を総大将として2万(戦力に諸説あり)の兵を授けて向かわせました。2万の兵は4つの軍団



復元され、公園として整備された現在の「岩崎城」(岩崎城歴史記念館案内板より)

(異説あり)となり、4月7日ひそかに陣を離れました。

4月9日早暁、池田恒興率いる第一軍6000人は岩崎城下にさしかかったのです。岩崎城主丹羽氏次は家康のもとに城兵主力を率いて参陣しており、岩崎城は氏次の弟の傍本(東郷町)城主・氏重(16歳)が氏次義兄(舅とも)の長久手(長久手市)城主・加藤太郎右衛門忠景(景常とも)と250人(諸説あり)の兵で守っていました。

「ただだ岡崎をめざせ」との秀吉の厳命を守ろうとした恒興でしたが、果敢な城側の

挑発にあつて城攻めに転じ、2人の家老が2000の兵(全軍あげての説も)で城を囲み猛攻をかけた。

戦いは約2時間続きましたが、兵力の差はいかんともし難く、援将加藤太郎右衛門が斃れ、丹羽氏重もまた草毛(月毛)の馬にまたがり城外へ討って出て、慈眼寺西の川に架かる石橋の辺りで敵に首を授けたといわれています。こうして守備の将兵ごとく倒れ、岩崎城は落城したのです。

しかし、その後池田恒興は長久手まで追跡してきた家康との戦いに敗れ、討死の碑をここに残すこととなります。

岩崎城将兵の捨て身の戦いが長久手での家康の勝利につながり、「家康強し」を天下に知らしめることになり、ついには將軍への道につながったなどという、日進人の大法螺と笑われるでしょうか。ちなみに、当時の戦いを知らせる、秀吉、家康・信雄の文書には「岩崎口の戦い」「岩崎表の戦い」などと記されていて、尾張と三河の境に位置する岩崎(城)の地位を知ることができます。

参考・引用文献 『日進町誌 本文編』日進町誌編集委員会 昭和58年・『日進町誌 資料編』昭和64年・『長久手町史 本文編』長久手町史編さん委員会 平成15年
『新訂寛政重修諸家譜』続群書類完成会 昭和39年・『岩崎城の戦い』武田茂敬 昭和56年・『播州三草藩史(立藩編)』吉田省三 昭和59年・『長久手の戦い』田中義和 昭和47年

50名が日頃の学習の成果を披露

第27回中国語スピーチコンテスト開催

中国語学科

合同祭開催中の2014年10月25日、第27回中国語スピーチコンテストが開催されました。この催しは、中国語を学ぶ学生の日頃の学習の成果を披露してもらうために毎年行われているものです。

名古屋外国語大学の在学生のほかに中国語を学ぶ多くの高校生たちも参加。また、今年も中華人民共和国駐名古屋総領事館から曾珺領事を審査員としてお迎えしました。

午前中は暗誦大会と朗読大会、午後からは弁論大会が行われ、それぞれ朗読大会に17名、暗誦大会に16名、弁論大会に

17名が出演。総勢50名による大規模なコンテストとなりました。27回を数える伝統のコンテストということもあり、3大会合わせて約200名の観客の皆様が来場し、各出場者の流暢な中国語に熱心に耳を傾けていました。また、4年生の黒木努さん、梅村玲於さんが中国語の歌を熱唱し、会場を盛り上げてくれました。

厳正な審査の結果、朗読大会、暗誦大会、弁論大会の各大会の入賞者は以下のように決まりました。

●朗読大会(高校の部)

- 【1位】 田中里沙さん(清林館高2年)
- 【2位】 梁 裕喆さん(御津高2年)
- 【3位】 山内美有さん(光ヶ丘女子高3年)
- 【特別賞】 竹内友海さん(光ヶ丘女子高2年)
三浦真子さん(清林館高2年)

●暗誦大会

- 【1位】 在原美那さん(写真)
- 【2位】 西 茜さん
- 【3位】 上田幸師さん
- 【特別賞】 水谷文香さん
野々垣舞子さん



●弁論大会(高校の部)

- 【1位】 小野内 咲さん(鶴城丘高1年)

●弁論大会

- 【1位】 奥谷伶央さん(写真)
- 【2位】 滝島致遠さん
- 【3位】 小倉優奈さん
- 【特別賞】 須田滉大さん
菅谷佑司さん 椿邑果さん
- 【中華人民共和国駐名古屋総領事館賞】
白川ひとみさん(写真)



出場者・来聴者の声

スピーチコンテストの出場者と来聴者から、以下のような感想が寄せられました。

●暗誦朗読大会

- 他校の生徒の中国語を聴くのが初めてだったので、とても良い刺激となりました。
- いつも一緒に授業を受けている仲間たち。発表までに何回か聴きましたか、数段うまくなっていて驚きました。
- それぞれの解釈でジェスチャーがあって、見ていて楽しかった。
- 自分の中国語への意識を更に大きく変えるとても良い機会になりました。
- 練習では、留学生に発音を丁寧に指導してもらったり、友達と一緒に練習したり…自分自身にとってとてもいい経験になりました。

●弁論大会

- 今回出場して、その練習期間中が何よりもかけがえのない経験となりました。
- ジェスチャーで聞いている人が話に入り込めるような工夫もあり、面白かったです。
- 自分の言いたいことを自分の言葉で、更に異なる言語を使って伝えるのはすごく刺激になりました。
- 言葉の流暢さや表現力に感動しました。人前に立って母国語でない言語でスピーチすることはとても緊張するし、難しいですが、皆さん諦めず最後まで話していて感心しました。
- 留学に向け、このスピーチコンテストを弾みにして頑張りたいです。

大山あゆみさん(現代英語学科3年)が準優勝

第8回学生通訳コンテスト開催

現代国際学部

2014年11月29日(土)に現代国際学部主催の「第8回学生通訳コンテスト」が約200名の聴衆を集めて開催されました。コンテストには名古屋外大を含めた13大学からの選抜学生が出場。「子供の発達に伴う心理社会的問題」のテーマのもと、2人のスピーカー(戸田須恵子、ミッシェル・モローネ 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授)の発言の対談逐次通訳を行いました。

【優勝】

東京外国語大学4年 藤井里咲さん(写真)

【準優勝】

名古屋外国語大学3年 大山あゆみさん

【第3位】

大阪大学3年 宇尾野瑞希さん

【The Japan Times賞】

獨協大学2年 赤羽咲紀さん



本学からは現代英語学科3年の大山あゆみさんが代表として出場し、見事準優勝に選ばれました。コンテストの結果は以下の通りです。



代表学生のパフォーマンスに圧倒、良い刺激に

2007年以来行われている我が校の全国学生通訳コンテストも今回で第8回目を迎えました。年々レベルが上が中、今回も出場学生の皆さんが素晴らしい通訳パフォーマンスを披露してくれました。何カ月も前からこのコンテストに向けて準備を初め、鍛錬を重ね本番に於いて成果を力いっぱい披露している学生たちの姿は観覧している会場の皆さんの感動を誘いました。費やされた準備と努力は裏切らない、という事を証明する熱いパフォーマンスでした。観覧に来ていた学生たちからは、「代表学生のパフォーマンスに圧倒されました。自分のモチベーションも上がりました。」「同学年の学生が通訳している姿にとっても刺激を受けました。」など意欲的な感想が聞けました。会場の皆さんには今後の良い目標が出来たことと思います。コンテスト

終了後には、神田外語大学の柴原智幸先生による同時通訳デモンストレーション、石黒弓美子先生による「通訳と発音」と題した講演が行われました。柴原先生による同時通訳デモンストレーションでは、初めて生で見るプロの同時通訳者のパフォーマンスのスピードと技術に圧倒され驚かされました。また、石黒先生の講演では発音について多くのアドバイスを頂きました。表彰式では、審査員の先生方から語学を通じてのコミュニケーション相互理解の大切さについて話を聞くことができ、今後の語学学習に活用できる素晴らしいアドバイスになったことと思います。また、このようなコンテストがたくさんスタッフや学生によって支えられていることを知り、多くのことを学ぶ機会になったことと思います。(文責 浅野輝子)

準優勝入賞コメント

心も橋渡する役割にやりがいを感じて

現代英語学科3年 大山 あゆみ

1年間のアメリカ留学から帰国してすぐ、浅野先生に学生通訳コンテストのお話を頂きました。今回のテーマである「心理学」をアメリカで勉強していたこともあり、これも何かの縁だと思い思い切って参加しました。1.2年生の時、通訳法特別クラスで通訳における技術を学んでいたもので、それを復習する形で浅野先生の研究室で毎日何時間もコンテストに向けて勉強を重ねました。そのおかげで、コンテスト当日は落ち着いて楽しく通訳に取り組めました。会場にいらしていた各大学の先生や関係者の方から賞賛を頂き大変光栄でした。「通訳というのは言葉のプロです。いつか先生がその様におっしゃっていたのを今でも覚えています。一口に通訳と言っても、それぞれの文化的背景の違いをはじめとする言語そのものの違いが一言一句に大きく影響します。そして言語だけでなく、話し手の心をも橋渡する役割を担っているこの通訳という作業の大変さを感じた一方で、その

やりがいや楽しさというものもこのコンテストを通じて学びました。準優勝という賞を頂きましたが、これは私の到着点ではなく出発点です。この経験をいかに生かせるか、ここから更にどれくらい飛躍することが出来るか、が私のこれからの課題です。貴重な経験をさせて頂いたこと、そして、浅野先生をはじめとする多くの先生方やコンテストを支えてくれた同じ学生のみなさんに心から感謝します。



メディア情報教育センターだより

iPad全学生利用に向けて

名古屋外国語大学では、昨今のiPadなどのタブレットやスマートフォンの普及の流れを受け、これらを教育の場で活用するため2014年5月にiP・S研究会を発足し、現在、実際にiPadを用いて授業をされている先生を中心にこれまでに5回の研究会が開催されています。

現在、メディア情報教育センターでは240台のiPadを管理していますが、授業や学生貸与等でフル稼働しており、常に不足の状態が続いています。そのため、iP・S研究会ではiPadやスマートフォンを用いた授業の推進を図るためだけでなく、学生全員にiPadを持たせることについて議論する必要性が生じてきました。ここではiPadに焦点を絞って全学生が利用するための問題点と対策について考えてみたいと思います。



「iP・S研究会」ロゴマーク

名古屋外国語大学でのiPad授業活用の現状

2014年後期時点で5名の先生がiPadを学生に貸与した授業を行なっていて、その成果や授業状況が10月のiP・S研究会で報告されました。語学のクラスでは、学生がiPadでお互いの発話映像を撮影し、自分自身の会話をチェックしスピーキング効果を高める授業を行っています。これまでこの作業はスピーキング・ラボという特殊な教室でのみ可能でしたが、iPadを利用することでより簡易で効率的に行うことができるようになってきました。その他、すべての教室で利用可能なWiFiを用いて海外のニュースや書籍・文献を検索し、そのデータをiPadと共に図書館に持って行き書籍を探したり、グループワークなどに利用されています。語学以外でも、iPadを持って学外で取材を行い、動画や写真を撮影し、それを元に企画書を作成、その結果の報告会を行ったり、教員・学生間でiPadのファイルを共有して学習効果を高めています。また、外国語学部英米語学科では、2015年度より全一年生に英語を母語としない学生が英語の基礎的な力を高めるために開発された「Core English」という授業を行います。この授業でもiPadを利用して会話や作文・情報検索などの授業を行う予定です。さらに、教養科目のゼミナールやスペイン語などの複言語教育においてもiPadを利用した授業が計画されています。

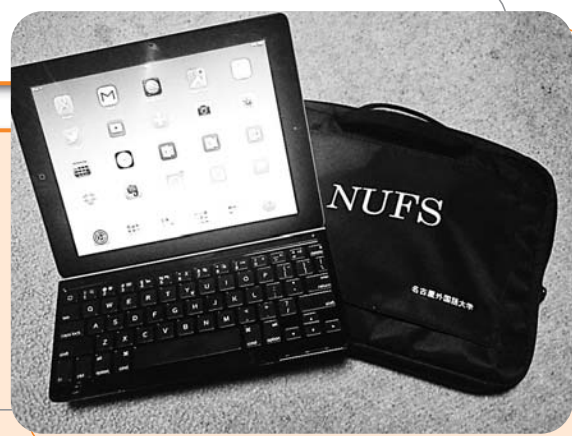
おわりに

今から20年程前、現在の名古屋学芸大学短期大学部の前身である愛知女子短期大学において、情報学科新入生全員にノートPCの無償貸与を行ったことがありますが、結局1度だけで終わってしまいました。この大きな原因のひとつに、大学での利用がほとんどなかったということがあげられます。iPad全学生利用を実現するためには、全教職員が協力してあらゆる面からiPadを利用する環境整備を構築していく必要があると思われます。(文責 大矢)

iPad全学生利用の可能性と問題点

現在、iPadなどのタブレットを所有している人は4人に一人、そのうち半数がiPadを利用しているそうです。企業においては、日本航空が2014年より約7000人の客室乗務員および運航乗務員全員、資生堂でも約11000人の美容部員全員にiPadを配布し仕事の効率を高めています。しかし、iPadを配布している大学は、新一年生全員900名にiPadを貸与している北海道情報大学や通信制大学のサイバー大学など極めて少数の大学に限られており、決して多いとはいえない状況です。

果たして本学ではiPad全員配付は可能でしょうか。11月のiP・S研究会ではこの可能性と問題点について熱い議論が交わされました。ほとんどの学生がスマホを所持している現在、それに加えてタブレットの必要性を疑問視する意見から、全員に配布の場合、教職員の協力体制、Wi-fi環境や充電環境の整備、他のIT機器や現在大学で利用しているG-mailやmoodle、などの関係、トラブルの対応など多種多様な問題が指摘されました。今後は、専任教員だけでなく多くの職員や非常勤講師、大学院生の研究会参加も視野に入れてさらに議論を重ねていく予定です。



日本赤十字社愛知県支部と連携協力に関する協定に調印 ～地域貢献をめざして～

2014年11月13日(木)、本学第一会議室において、日本赤十字社愛知県支部と連携協力に関する協定書調印式を行いました。

日本赤十字社愛知県支部が大学と協定を結ぶのは初めてのこと。

調印に先立ち、日本赤十字社愛知県支部 渡邊英夫副支部長から「名古屋学芸大学と連携協力の協定を結ぶに至ったことを、大変喜ばしく思っております。」と挨拶をいただき、今後は、日本赤十字社の使命と理念を実現するために、建学の精神として「実学と人間教育」を掲げる本学と手をとり合い活動を展開することに期待を寄せられました。

本学の井形昭弘学長は、「全世界に人道支援を展開している日本赤十字社と連携協力に関する協定書調印式を迎えられて光栄に思う。「人間教育」を具現化するためにサービスラーニングセンター・子どもケアセンターを通じ地域貢献をめざしていきたい。」と今後の活動についてより具体的に述べました。



連携協力協定締結を機に、名古屋学芸大学子どもケアセンターでの子育て支援の協働をはじめ、救急法の普及、学生ボランティアに対する赤十字講習会の実施や防災食に関する研究などをさらに進めていき「苦しんでいる人を救いたい」という日本赤十字社の使命、「人間教育と実学」を基本理念としている名古屋学芸大学と相まって、より実践的な活動を通して、地域の課題を協働し、実践的に推進・展開していきます。



名古屋学芸大学 井形昭弘学長(左)と日本赤十字社愛知県支部 渡邊英夫副支部長(右)

合同祭でSLセンター企画講演会を開催

10月25日(土)第19回合同祭において、名古屋第二赤十字病院救急科部長の稲田真治先生をお招きし、「災害発生時の自助共助～災害医療の立場から考える」と題して講演会を開催しました。

稲田先生は、日本救急医学会評議員・指導医・専門医、日本集団災害医学会評議員、日本集中治療医学会専門医であると同時に、日本DMAT隊員、統括DMAT、日本DMATインストラクターや愛知県本部災害医療コーディネーターとしてご活躍されており、先生のご経験からの言葉の一つ一つに会場が耳を傾けました。

日本では地震が起らないところはなく、甚大な被害が予想される東海・東南海地震などの災害時には、自分自身の安全を守り、二次事故を防ぎ、高齢者の生活不活発病を防ぎ、支援者も支援される者もストレス

をかかえる非常時に対して、心も体も物資も備えておくことが大切であることを学びました。

東北ボランティア経験のある参加者にその感想を求められ、会場が被災地支援について思いを共有しました。

また、参加者からは備える方法について質問もあり、東日本大震災から3年半をすぎ、起こりうる自然災害に対し備えることの大切さを改めて考える機会となりました。

地域の方や学生、保護者、教職員など会場にいた参加者は、稲田先生のご経験や各地で起こっている災害の様子から各自が行っている「備え」の再確認をしたことでしょう。



日本赤十字社愛知県支部URL

http://www.aichi.jrc.or.jp/sekijuji/houshidan/h_news/entry-880.html

SLセンターURL

<http://slc.nakanishi.ac.jp/news/000050.html>

高等学校ファッションデザインコンテスト『FASHION PRIZE 2014』

今年で7回目をむかえた高校生対象のファッションデザインコンテスト『FASHION PRIZE 2014』は、全国47校から828点のデザイン画をご応募いただきました。

審査員にファッションデザイナーの田山淳朗氏や畠山巧氏を迎え、厳正なる審査の結果、グランプリは松岡美歌さん(済美高等学校3年生)、準グランプリは、伊藤結衣さん(愛知県立一宮高等学校3年生)親田菜さん(沖縄県立浦添工業高等学校2年生)の2名、スタイリング賞は熊谷華菜子さん(青森県立弘前実業高等学校3年生)、柴田理



奈さん(済美高等学校3年生)各務愛梨さん(岐阜県大垣桜高等学校3年生)の3名、奨励賞5点。審査員特別賞5点の計16点の作品が入賞しました。

入賞されたデザイン画は、10月25日(土)の大学祭ファッションショーにて展示発表し、表彰式では、井形昭弘学長から入賞者に表彰状と賞金または賞品が授与されました。

高校生から応募されるデザイン画は、年々才能あふれる作品が増えております。学生にも刺激になっており、入賞者の中には、本学科へ進学され、活躍している学生もおります。



松岡 美歌さん
(済美高)の作品



伊藤 結衣さん
(一宮高)の作品



親田 菜さん
(浦添工業高)の作品



天白警察署 交通安全「反射材ファッションショー」

2014年12月20日(土)天白区役所講堂において、交通安全を目的として、反射材などを利用した作品のファッションショーを開催致しました。

このファッションショーは、愛知県内の交通死亡事故が全国ワースト1である現状と犠牲となられた方の半数以上が65歳以上の高齢者であることから、高齢者の方々が悲惨な事故の被害者とならないように抵抗感なくおしゃれに反射材を身につけていただくため、愛知県天白警察署から依頼され実現した企画です。

学生から応募されたデザイン画から、今回発表したデザイン

を選び、短期間で作品制作を行いました。高齢者の方々に向け、交通事故を減らしたいという思いで作品を制作し、発表を行いました。

当日は、モデルとして天白区内の高齢者モデルの方々やワンちゃんにもご協力をいただき、テレビ局3社、新聞社3社、天白区広報誌の方にも取材をしていただきました。

これを機に県内の交通事故ワースト1から脱却と、反射材を使用したファッションの市場拡大に期待したいと思います。



2014年度コンテスト入賞・入選実績

・名古屋学芸大学 ファッション造形学科

コンテスト入賞・入選実績

(2015年1月16日現在)

第52回 全国ファッションデザインコンテスト	杉野 芳子賞・オンワード樫山賞	酒匂 美奈
第16回 千年大賞	オフィスウェア部門 優秀賞	安藤 弥生
倉敷ファッションフロンティア2014	ユニフォーム部門	
奨励賞	木村 瑞希	
入選	和田 明香里	
ジーンズ&カジュアルウェア部門		
入選	倉内 初音	
企業賞(有限会社ニイヨンイチ)	伊藤 真紀	
企業賞(株式会社ドミンゴ)	花岡 礼菜	
企業賞(株式会社トンボ)	酒井 美妃	
企業賞(株式会社神馬本店)	岡田 早穂	
新宿ファッションフィールド2014	新宿区長賞・ジュングループ賞	一色 彩音
入選	大久保 果歩	
福井ファッショングランプリ2014	奨励賞	栗野 萌子
入選	加藤 結	竹林 佑将
	鈴木 翔太	土本 紗希
JFAファーデザインコンテスト 2014	HKFF賞	丸地 把奈
2014Tokyo新人デザイナーファッション大賞	入選	畔柳 あゆ
ナゴヤファッションコンテスト2014	入選	細矢 美乃莉 長谷川 菜実
第21回 浜松シティファッションコンペ	入選	加藤 結 倉内 初音 坂野 文香
金澤ファッションコンペティション2014	入選	工藤 義斗 大西 里佳 岡田 木乃葉
		奥村 彩芽 小田 拳太郎 島 茜
第5回 神戸ファッションリメイクコンテスト	入選	北小路 穂乃
ナゴヤリメイクコンテスト	クランツ賞	吉村 良子
	オゼキ賞	小川 真彩子
	丸糸賞	倉内 初音
	洋装産業新聞社賞	今井 美希
第18回 全国きものデザインコンクール	新潟県知事賞	市川 真帆
	銀賞	飯田 結偉
入選	倉田 麗菜	磯村 えり子 堀 真澄
	鈴木 良麻	福田 香奈美
	山田 実季	吉村 良子

など17種コンテスト、39名が入賞、51名が入選しました。

映像メディア学科「NUAS映画プロジェクト」

長崎俊一監督作品『唇はどこ?』 学内で完成披露試写会

名古屋学芸大学映像メディア学科「NUAS映画プロジェクト」として製作していた作品『唇はどこ?』がこのほど完成。その完成披露試写会が1月8日、学内で行われました。

今回の作品『唇はどこ?』は、本学の5人の先生方がそれぞれ映画製作に取り組んだ「NUAS映画プロジェクト」の中でメインとなるもので、本学非常勤講師でもある長崎俊一監督がメガホンを取りました。長崎監督は『西の魔女が死んだ』『死国』『誘惑者』などの話題作で知られ、海外にも多くのファンを持ち、今も第一線で活躍されている方です。渡部学科長が撮影監督を務めるなど、先生方はもちろん学生たちもスタッフとして参加。本学の総力を結集した大作となりました。

作品の中では劇中劇が展開されますが、これは長崎監督が受け持つ講義「シナリオ実習」で出された案をベースで作られたもの。また、映画製作全体を通して「学内インターシッップ」の考え方で、プロの仕事に学生たちが触れ、学んでもらうという教育的意味合いも込められています。

この劇中劇を演じる若い男女5人の心の機微を、長崎監督独特の作風で精緻に描いた『唇はどこ?』。監督自身も「と

ても大事な作品になった」とその出来栄えに胸を張ります。試写会後は若者たちの瑞々しい青春群像に会場から大きな拍手がわき起こりました。

なお、『唇はどこ?』は今後、名古屋と東京で公開上映が予定されています。



DATA

2014年NUAS映画プロジェクト作品「唇はどこ?」(上映時間 100分)
 監督・脚本・編集/長崎 俊一
 出演/久具 巨林 (NUAS)・廣瀬 菜都美・宮谷 達也・鈴木 理恵子 (NUAS)・山本 一樹 ほか
 製作/名古屋学芸大学(学長:井形 昭弘) プロデューサー/柿沼 岳志・渡部 眞
 撮影監督/渡部 眞(JSC) 音楽/鈴木 悦久 (NUAS) 編集協力/豊丹 録音/武馬 健二
 整音・MA/森 幸長 (NUAS) 助監督/高田 真幸・大石 雅紀 スタylist/岩井 清美
 制作主任/永幡 勇気 合成/笠波 倫年
 グレーディング/齋藤 正和 (NUAS) ほかNUAS学生



『唇はどこ?』のワンシーン



あいさつする長崎俊一監督



井形学長も試写会に出席



出演者の皆さん



撮影監督を務めた渡部眞学科長(左)と柿沼岳志プロデューサー

今年度の映像メディア学科

たくさんの活動が行われ、学生が活躍いたしました。



タイトル:「二人静」(ふたりしずか) 学生:栗城雪菜
 ・文部科学大臣賞 全映協グランプリ2014 学生部門最優秀賞
 ・International Students Creative Award 2014 国内映像コンテンツ部門 優秀賞

※作者の祖母が残した文章を頼りに、祖母の生涯と、祖父という切り離せない存在を追ったドキュメンタリー作品。昨年度ゼミ展大賞でもありました。

3年生の進級制作展「ゼミ展」では各領域で優秀作品が表彰されました。



賞	カテゴリー	作品タイトル	氏名
大賞	アニメーション	「しいれめ」	森あおい
最優秀賞	インスタレーション	「virus」	田中敦大
	映画	「絶望の朝日」	小林桃子、酒井真子、堀場千夏
優秀賞	パフォーマンス	「共に暮らす日」	鈴木理恵子
	インスタレーション	「howl in the shell」	伏屋寿美枝
	アニメーション	「prct-0204」	足立一馬

作品展も盛んにおこなわれました。また企画展や自治体との協働事業なども手がけました。

展示・事業名	日程	場所	趣旨
「オンナトオトコ」	6.17~6.22	市民ギャラリー矢田	写真ゼミ共同展
「インスタレーション領域制作展」	7.16~7.21	市民ギャラリー矢田	企画運営も学生
「日進市北新区似顔絵コーナー」	11.16	北新町公民館	学生と住民の交流
「Alternative Process, Albumen Print」	12.3~12.7	gallery+cafe blanka	学生写真展
「add展 2015」	2.19~2.22	刈谷市文化センター	ギャラリー活性化



【笑顔記念日プロジェクト】

Service Learning Center (SLC)と日進市との協働事業です。管理栄養学科の学生が日進市の高齢者に食事のアドバイスをし、映像メディア学科の学生が笑顔の写真(遺影)を撮ることを通じて、高齢者が健康づくりに励むことをねらいとしました。定員の30名を超える参加がありました。

【藤が丘DJ】

名古屋市、藤が丘中央商店街振興組合、愛知学院大学と本学の産官学連携プロジェクトの一環で、学生達が取材した店のエピソードなどを同駅周辺のスピーカーで流しています。

【教員作品】

- ・映画「Nothing Part 71」 監督:仙頭武則教授
発掘された沖縄の頭蓋骨は何を語るのでしょうか。仙頭先生渾身の監督作品。
- ・映画「点の世界」 監督:渡部眞教授
「ショートストーリーなごや」入賞作品の映画化。原作を超える作品となりました。
- ・インスタレーション作品「WALTZ 2014」 伏木啓講師
日程:9.18~9.21 中川運河

中川運河 映像アーカイブ プロジェクトは、名古屋市の中心部に流れる中川運河の視覚的な価値を記録し継承することを目的に、2013年よりはじめられました。

	テーマ	講義日	講師
1	音楽とテクノロジーの交差点	7.3	ハンス・トゥチュク、水野みか子
2	社会/生活/アート	10.30	かないみき
3	音と映像の作用/反作用	11.17	岸野雄一
4	弦楽四重奏曲の作曲とレコーディング	11.14	周防義和
5	白組「Stand By Meドラえもん」の制作秘話	11.12	八木隆一監督、鈴木健之CG担当、栗飯原君江プロデューサー
6	レコーディングにおけるミキシングとマスタリングの実際	11.26	田中三一
7	映画「接吻」を巡って	12.2	万田邦敏監督

- ・プラチナ・パラジウム展「The tone composition」
日程:9.22~10.10 NUAS GALLERY

安達洋次郎客員教授と横山達也助手による展示は、プラチナを使った写真の古典的印画法による作品を約40点と資料やプロセス動画などを展示し、学生たちが普段目にするのが出来ない貴重なプリント技法を学べる場となりました。また「定着する記憶」展は学生中心に進められ、一般参加者たちと鶏卵紙プリントをするワークショップをしました。

- ・フォルマント兄弟「夢のワルツ〜オーケストラ・バージョン」
大阪・いづみホール 佐近田展康教授・三輪眞弘IAMAS教授
- ・映画「休日映画」 作家:齋藤正和講師 イメージフォーラム・フェスティバル2014

プライベートの風景がパブリックになってしまった希有な映画。

【特別講義】

特別講義は多彩なゲストをお呼びして開かれました。ハンス・トゥチュク氏(作曲家・ハーバード大学)、岸野雄一氏(映画音楽研究)、田中三一氏(サウンドエンジニア)といったサウンド領域。また大ヒット映画「ドラえもん3D」の八木監督からも名作マンガを3D作品にしていく苦労をうかがい、万田監督と渡部撮影監督には「接吻」について、演出と撮影の密かなコンビネーションをお話いただきました。

名古屋城「金シャチ横町プレイベント」(デザイン学科)

「^{たの}しみ^{さい}ん祭」

会期：平成26年11月15(土)・16(日)、22(土)・23(日)・24(月・休)

会場：名古屋城正門前・特設会場

この企画は6月のデザイン学科「NAGOYAみやげVISION展」の展示を受け、運営事務局であるイベントプランニング担当の大井先生(大井企画)より、企画を持ちかけていただき、開催の運びとなりました。

金シャチ横丁は名古屋市が2016年のオープンを目指して、進めている城下町構想になります。今回の「楽しみん祭」はそのプレイベント(社会実験)です。

デザイン学科4年生による名古屋みやげ提案コーナーには今までに無い名古屋みやげの提案作品約15点を展示し、多くの来場者大変面白いから是非実用化してはとの声を頂きました。特に初日の15日には河村名古屋市長もブースに立ち寄り、とても良い評価と激励を受けました。

またイベント会場入り口にはデザイン学科2年生制作による金シャチキャラクターのモニュメント(名古屋名物・駄菓子を素材に使用)を展示いたしました。



名古屋みやげ提案作品



視察に訪れた名古屋市長



子どもケア学科 幼児保育専攻

幼児保育専攻教員、全国保育士養成協議会
中部ブロックセミナーで分科会の提案者に選ばれる

去る11月28日~29日に全国保育士養成協議会中部ブロック第19回セミナーが、サンシップ富山で開催されました。第一日目に3つの分科会が設定され、「保育の実践力と協働性を高める授業の工夫と展開」をテーマにした第1分科会で、本学幼児保育専攻の藤



井正子先生、西村美佳先生が「学生の「遊び心」を喚起する合同授業の試み」と題して提案を行いました。本学の授業実践に注目されたセミナーの企画運営担当者の依頼によるものです。

写真は発表の冒頭、実践力の育成や専門性向上が重視される中で、今なぜ「遊び心」なのかという提案の趣旨を遊び心たっぶりの両先生がコントで説明しているところです。(大受けでした)

最近、「実習に行っても子どもと一緒に遊びを楽しめない、なかなか授業にアクティブに取り組めない、人と関わることが苦手」といった学生が本学でも少しずつ増えつつあります。常日頃から学生の教育に人一倍熱心に取り組んでいる両先生。こうした状況をなんとかしなければという熱い思いで、課題解決の一つの試みとして実践したのが「保育内容総合演習」と「ソルフェージュ」などの学びを基盤に「お店屋さんごっこ」を遊び込むことを目的とした合

同授業です。分科会ではこの授業の様子が動画で紹介されました。グループでお店で売る物を考えたり作ったり、お店への呼び込み方を工夫するなどの生き生きとアクティブに活動する学生の姿や、学生自らが真剣に意欲的に取り組んできたミュージックベルの合奏の完成度の高さに参加者は感嘆しきりで、発表途中なのに拍手までいただきました。

もう一つの提案大学の発表内容は、領域「表現」の授業の中で学生が「音楽劇」を作品として完成させ一般に公開するという取り組みに関するものでした。この授業では専門家である教員の指導の元、教員も学生も膨大なエネルギーを注いだことを思わせる素晴らしい仕上がりとなっていました。ただ、学生の主体的な関わりはどこにみられるのか、また子ども理解についての学びはどこですのかなど、若干課題があるようでした。

大学の宣伝を意識したこういった取り組みは多くの私立大学で見られますが、はたしてそのプロセスで何が育っているのかをきちんと把握し検証する必要があると思われます。

本学の授業の取り組みは地味ではありますが、質の高い保育者養成という今日的課題解決にできるものとして参加者の方々の共感を得たように思います。これを機に、専攻の教員全体で授業での学びについての検証や授業、カリキュラムの内容検討を進め、専攻の教育の一層の充実を目指したいと考えます。

(村岡 眞澄)

栄養教諭採用試験(管理栄養学科)

栄養教諭採用試験に管理栄養学部生4名が合格

子供たちの給食を管理するとともに食事の大切さを教える食育が重要な業務となる栄養教諭の平成27年度採用試験に、管理栄養学部の4年生が4名合格しました。また既卒者も4名が合格しました。合計8名という合格者数は栄養教諭採用試験が始

まって以来、最高の人数となります。

採用試験に際して、ご指導をいただきました教職課程の先生方に感謝します。

平成27年度採用 栄養教諭志願者数および合格者

採用地	合格者数(名)	受験者数(名)	本学	
			新卒(名)	既卒(名)
愛知県	10	113	1 鈴木 萌	2 高橋歩未 清水麻由
名古屋市	7	34	3 井藤 慧 小川明里 水野 綾	0
岐阜県	5	20	0	1 千村友記
福井県	2	40	0	1 柴山優
合計			4	4
			8	

採用年度別 栄養教諭合格者数

採用年度	新卒(名)	既卒(名)	合計(名)
平成21年度	0	4	4
平成22年度	3	3	6
平成23年度	4	1	5
平成24年度	3	1	4
平成25年度	6	1	7
平成26年度	3	3	6
平成27年度	4	4	8

養護教諭コース

名古屋学芸大学短期大学部における キャリア教育の紹介

短期大学部の養護教諭コースでは、養護教諭2種免許状を取得するに当たり、1年次の1月末から3週間の臨床実習に病院へ行っています。また、2年次の4月から6月にかけて3週間の養護実習に学校へ行っています。免許取得のための必要単位となる学外実習は、この二つですが、本養護教諭コースでは、1年次の夏休みを中心に、幼稚園、小学校、特別支援学校(特別支援を必要とする施設を含む)に観察実習に行っています。

養護教諭免許状を取得する学生たちは、幼稚園から小・中学校、高等学校、特別支援学校のどの校種にも勤務することができます。愛知県の場合は、教員採用試験を義務教育か高等学校かの希望で受験することも可能です。本学の養護教諭コースでは、子どもの発達段階をしっかりと把握したうえで、子どもの個性と課題に応じた支援の在り方を、理論を踏まえて学ぶことをしています。その一環として、幼稚園での3歳児の年少クラスから4歳児の年中クラス、5歳児の年長クラスの子どもまでと一日を過ごす体験を通して子どもの発達を観察し、学んでいます。同じように、小学校でも低学年、高

学年のクラスに1~2名で入らせていただき、学習の様子や子ども同士の様子の観察から学んでいます。また給食や清掃を子どもと共に体験しながら観察しています。

今年度は、研修旅行で独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院と、三重県立杉の子特別支援学校の見学をしました。この病院は、筋ジストロフィーの患者さんや重症心身障害児(者)の医療・療育と神経難病患者の治療とケアをしています。病院と隣接している杉の子特別支援学校には、知的障害、肢体不自由、病弱虚弱の小学部から高等部までの児童生徒85名が在籍しており、その子どもたちの授業の様子を参観させていただきました。子どもたちは学生の訪問に興味津々で、またとてもテンション高く迎えてくれました。子どもたちの素直な表情に心なごむ訪問となりました。

学生自身もすでに自己の発達を経過しているわけですが、客観的に、また理論をもって発達について学ぶことは、今後養護教諭として子どもへの適切な対応や指導に結びつくものとなります。(大原 榮子)



菱野幼稚園での観察実習 自己紹介



小学校の子どもと共に行った教室清掃

合同祭に生かした学年連携

短期大学部の養護教諭コースでは、毎年恒例となっている合同祭で1年生は「養護展」、2年生は「養護活動展」を開催しています。特に1年生は入学して間もない6月頃に、この合同祭の企画について計画を立て始めなければなりません。参加したことのない1年生だけではこの企画の計画を立て、運営をしていくことはかなり難しいことです。しかし、例年これを実施しています。そこには養護教諭コースのこれまでの教育があります。

養護教諭コースでは、大学生活の中で、クラス代表の役割が全員に割り当てられています。入学時のオリエンテーションにおいて各自が自主的に何らかの係りの担当につきます。その年度の係りであったり、2年間継続のものだったりもしますが、どの学生も2年間、何かの係り担当としてコース内の仕事に就きます。「養護展」についても1年生の学生が数名担当者として決まります。

養護展の内容の一つは、前期の学びである健康診断の実施について、多くの来場者を対象に実施することです。また、もう一つは、毎年1年生の学生たちがテーマを決めて取り組む調べ学習があります。今年度は、「アジアの子どもの健康」をテーマに、日進市にあるアジア保健研修所(AHI)を訪問し、アジアの国々の健康課題について、多くの事前学習をしました。養護展の進め方として、2年生の先輩は、1年生の後輩に、

前年度の養護展について写真や企画書などを見せながら実際の進め方を指導しています。この先輩の指導を受けながら、1年生の養護展係りの学生は、今年度の企画を立て始めます。係りでの基本的な活動内容を決定すると、1年生全員の学生を対象に分担を決めていきます。この後、ポートフォリオ指導の授業で学んだPDCAサイクルに沿って、活動を展開していきます。この間、何度となく、2年生の先輩からの指導と確認が入ります。夏休み中には、掲示物の下書きをし、後期が始まるとその下書きの最終確認と作品仕上げ、実際の器具の点検や測定の実際を行います。

初めての養護展となった合同祭では、2日間で約300名のお客様をお迎えすることができました。この企画が始まった当初、どのような展開になるのが不安でしたが、2年生の先輩の指導を受け、1年生の一つ一つのグループが活動を通してひとつひとつになって取り組むことが出来るようになりました。

この短期大学部の2年生の先輩から1年生の後輩への指導そのものが、将来の養護教諭として生きる学びに繋がっていく教育です。これを毎年繰り返して行っているのです。今年の1年生の養護展の担当者は、来年、新1年生の指導的立場になっていくのです。この繰り返しの中で大きく成長してほしいものであると願っています。



養護展の調べ学習「アジアの子どもの健康」掲示資料



養護展の調べ学習「アジアの子どもの健康」教室掲示の準備



養護展 「はしの正しい使い方」お客様をお迎えしての説明



養護展 健康診断の器具準備(肺活量)

メディカル秘書コース

合同祭・メディカル秘書コースの 展示を振り返って

メディカル秘書コースのことを広く学内外に周知しようと教職員、学生が心を一つにしてコース展示に取組みました。

コース展示は模擬授業4講座(電話対応、祝儀袋・不祝儀袋、車椅子、上座・下座)、診療報酬明細書の作成体験、車椅子の使用体験、秘書検定問題の解答と答え合わせ、カリキュラム、資格試験の紹介、早口言葉への挑戦などでした。どのコーナーも来場者に関心をもっていました。とりわけ人気を博したのが、模擬授業4講座でした。学生による模擬授業でしたが、受講者には好評のようでした。養護教諭コースと連携し、スタンプラリーを実施したことも来場者増加に功を奏したと思われます。展示の企画、準備、運営の過程でいろいろ調整、工夫をしたので、来場者にとって見どころの多い内容だったと思います。実際にコース展示に関わった学生が来場者に説明をしたことも功を奏したと思われます。学生たちは、皆、コース展示に向けたコラボレーションの中でグループワークの能力を高めることができたのではない

かと思っています。

現在、教育機関として有用な人材の育成が叫ばれる中、さまざまな視点から取り組みが行われています。人材育成の一つのメソッドですが、学生同士がコラボレーションによりグループとしての成果を上げる経験を積むことは、日本の教育機関ならではのことでないでしょうか。一昨年、名古屋外国語大学の25周年記念シンポジウムで専門的知と実践的知の交わりという話をお聞きし、感銘を受けました。しかしながらこのことを実践するのはなかなか容易なことではないと思います。その意味で今回のコース展示は学生たちが、専門知と実践知の交わりのステージまで高めるためのまたとない機会となりました。

合同祭全体から見れば、ささやかなメディカル秘書コースの展示だったかもしれませんが、例年のコース展示との比較において飛躍的な成果を上げたことは間違いないと自負しております。(伊藤 俊男)



合同祭の案内

模擬授業「電話対応」

第19回 合同祭



テーマ

「Palette(パレット)」 個性の“色”が混ざり合い、集う場に!

天高く、秋空に届け、若者たちの個性のチカラ! —名古屋外国語大学・名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部3大学合同の学園祭「第19回合同祭」が2014年10月25日と26日の2日間にわたり、今年も盛大に開催されました。

今年のテーマは「Palette(パレット)」。Paletteには「画家が用いるパレット」「ひとそろえの絵の具」などの意味があります。人それぞれに個性(色)があり、その色が混ざり

合う、集う場が合同祭という名のPalette……合同祭実行委員会はそんな思いで今年のテーマを決めました。学生だけでなく地域の皆様、来場者、学校関係者等あらゆる人たちが持つ個性の色を出し合い、混ざり合い、一つのPaletteをつくり上げよう……まさにあらゆる個性のチカラが集まってパワーが生まれる、そんな活気ある今年の合同祭となりました。





名古屋外国語大学

名古屋学芸大学

名古屋学芸大学短期大学部

N
S
C

普段の学習の成果を発表する場として

合同祭の特長として、学生たちによるステージイベントや模擬店などの楽しい企画はもちろんですが、授業と直結した、普段の学習の成果を発表するような文化・学術的イベントが多いことも挙げられます。

名古屋外国語大学では、日本語学科による展示、原田ゼミ、宇治谷ゼミ、高橋ゼミによる活動の紹介、そして毎年多くの来聴者を集める中国語学科による中国語スピーチコンテストや、マスコミ業界研究グループ主催のベストアナウンサーコンテスト。エアライン業界研究グループ主催の模擬フライトは毎年年代を問わず多くの参加者でにぎわい、旅行業界研究グループ主催の旅行写真コンテストでは、世界のあらゆる姿を写真を通して見つめることができました。

名古屋学芸大学では、ファッション造形学科のファッションショーと優秀作品展示、同じくデザイン学科による作品展、映像メディア学科のゼミ展のほか、管理栄養学科による身体チェックや子どもケア学科による「子どもケアセンター」など、こちらも来場者に参加してもらい、学習の成果を理解していただくイベントとなりました。短期大学部でもメディカル秘書コースの展示・秘書体験コーナーや、養護教諭コースによる養護展や養護活動展など、体験しながら普段勉強していることを理解してもらうイベントが目白押しとなりました。

ベストアナウンサーコンテスト



名古屋外国語大学客員教授でフリーキャスターの小宮悦子氏を審査員に迎え開催された「ベストアナウンサーコンテスト」。昨年に引き続き外国語学部日本語学科3年の堀愛実さんが最優秀賞に選ばれました。



模擬フライト



旅行写真コンテスト



作品展示



エアラインラウンジを飛行機の機内に見立てて、エアライン業界への就職を目指す学生が接客しました。



ステージイベント



ステージに声援を送る、図書館前はさながら“アリーナ席”

各種サークル活動の発表の場として、今年も図書館前に「VIVID STAGE」と呼ばれるメインステージが設置されました。音楽系やダンス系のクラブによる発表や武道系クラブによる演舞が披露され、若者たちのパワーがさく裂。図書館前の階段はさながら“アリーナ席”のように多くの人たちで埋め尽くされ、ステージ上で繰り広げられる多彩な催しに大きな声援を送っていました。

また、学園祭に欠かせないものといえば模擬店。各サークルやクラブ単位による、祭りに定番のフラン

クフルトやみたらしだんごの模擬店をはじめ、チュロスやワッフルなどのイマドキのグルメを出す模擬店も登場。隣り同士がまるで競い合うように、呼び込みの掛け声が響き渡っていました。

そして、いよいよ合同祭のフィナーレを飾る時間となり、まずスペシャルライブとして「シッド・カフカ」と「04 Limited Sazabys」が登場し、迫力のサウンドを聴かせました。その後、合同祭恒例のレーザーショーが始まり、美しい光の中、感動的なフィナーレとなりました。

模擬店



名古屋外国語大学

名古屋学芸大学

名古屋学芸大学短期大学部

N
S
C

★ 名古屋ファッション専門学校

体験入学



毎年恒例となったファッションショー



ショップ形式の教室でディスプレイの実習

学園祭

学園祭恒例の3年生によるファッションショーや全校から応募されるデザイン画コンテストのほか、たません、やきとり、パンケーキ、フリーマーケットなどの模擬店や授業作品展示など今回も盛りだくさんの内容でした。高校生や保護者の皆様、懐かしい卒業生など多くの方にご来場いただきました!



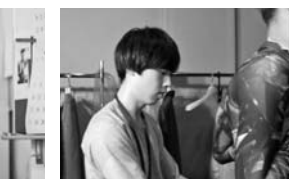
今年もたくさんのコスプレが登場



「NSCollection」フィナーレです!

「ATSUSHI NAKASHIMA」コレクションにフィッターとして参加

当校を卒業されバリでのデザイナー経験を経て帰国、現在まで4シーズンにわたりメルセデス・ベンツファッションウィーク東京にて「ATSUSHI NAKASHIMA」ブランドを発表する中島篤さん。今年度は春に開講した在校生に向けての特別講義に加え、秋のコレクション発表の際フィッティングのお手伝いをさせていただきました。10月15日に東京・渋谷「ヒカリエ」にて開催されたショーの舞台裏を手伝わせていただいた2年生の学生たち。モデルさんへの着せ付けや、アクセサリ作り等を手伝うことができ本当に貴重な経験ができたと言っていました。



『NFFF2015』へ向けて!



2015年2月14日に開催される『NFFF2015』へ向けて、学生の作品制作が進んでいます。昨年に引き続き、スワロフスキー・ジャパン株式会社、YKKファスニングプロダクツ販売株式会社から世界でトップシェアを誇る素材協賛をいただき、今回のショーに向けての事前レクチャー、本社にてのデザイン審査を経て選ばれた11点が制作されることになりました。また、コーディネート部門においては、アディダス・ジャパン株式会社、株式会社ファブリカ、株式会社ベルシュカ・ジャパン、リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社、株式会社ワールドなど、有名各社のご協力を頂き、秋の研修旅行の際には学生が各社を訪問し、広報担当の方にご指導をいただく機会にも恵まれました。産学協同のイベントとしてより一層の充実を目指しています。

★ 名古屋総合デザイン専門学校

海外研修旅行

グラフィックデザイン科1年生・2年生および、インテリアデザイン科1年生・2年生の学生15名が12月15日(月)から23日(火・祝)、ヨーロッパへ研修旅行に行ってきました。

中部国際空港に集合、フランクフルトを経由しスペイン。まず、バルセロナにおいて、専用バスで市内観光の後、グウェル公園、サクラダファミリアおよび、カンブノウを見学。ついで翌日、ミュンヘン経由でフランス。夜はシャンゼリゼ通りを徒歩見学。翌日、専用バスでノートルダム、エッフェル塔等の市内観光の後、オルセー美術館、ルーブル美術館を見学。次の日はそれぞれグループに分かれ自由研修。モンサンミッシェルやヴェルサイユ等。翌日はユーロスターに

てロンドンへ。専用バスで市内観光の後、セントポール大聖堂、大英博物館を見学。次の日はそれぞれグループに分かれ自由研修。翌日、ロンドンからフランクフルト、上海経由で中部国際空港。ここで解散。

海外の美術・デザインに直接触れる機会を得ることができ、大変有意義な9日間でした。



バルセロナ・グウェル公園

バルセロナ・サクラダファミリア

パリ・ルーブル美術館

ロンドン・ビッグベン

ロンドン・バッキンガム宮殿

ロンドン・ウェストミンスター寺院

ロンドン・セントポール大聖堂

ロンドン・大英博物館

★ 名古屋栄養専門学校

特別講演「世界遺産 和食・日本料理」 小林克巳先生の調理実習

名古屋栄養専門学校では「教育研究会」を学期毎に実施しています。授業を担当する先生方との交流と勉強会の場です。2014年度後期開講前の8月30日(土)に保護者会と合同で開催し、小林克巳先生に「世界遺産 和食・日本料理」の特別講演をしていただきました。

「お茶事の料理は高級な食材を使用して、特別な料理と思われていますが、それは、宗家によって流儀が違ったり、約束事がそうしていると思います。しかし、食事を進めて行く手順は、理に合った、合理的な考えが基本になっています。食事を進めるに当り、時代が過ぎても、いかなる場所であっても、そのおもてなしの心は、いつの時代にも参考になると考えています」とご説明いただき、和食の奥深さを垣間見る機会となりました。

小林克巳先生は文化センターでの幅広い料理指導の経験を踏まえて、「明治生れの職人から教わった、技・知識を出来るだけ多くの若い人に伝えることを一番に思っている」との抱負のもと、2002年から本校の非常勤講師として2年生の調理実習を担当していただいています。該博な知識と幅広い料理の技術、特に日本料理について造詣深い先生です。

以下、小林克巳先生の授業のプロフィールです。
2年次前期「調理実習Ⅳ」では中国料理をご指導いただきます。料理だけでなく、中国語の料理名の意味や知識も教えてください、学ぶことが多くあります。調味料を計量せずに目分量で味付けをしているのに、先生の手から調味料が出ているのではないかと思うほど美味しいものができ、先生の技の素晴らしさに感動しながら調理実習を行います。

後期「調理実習Ⅴ」では、2年間の集大成として日本料理、中国料理、西洋料理等さまざまな料理を教えてください。使用する材料は少ないのに、一品一品の細かいところまでこだわり、食べるととても満足できます。クッキーやケーキも特別な材料や道具を使用するのではなく、基本的な作り方を教えてください、加える材料を変えるだけで何種類ものアレンジができ、調理力を深めます。

さらに、夏休みには、柳橋市場に学生と一緒に出かけ色々な食材を見て廻り、取扱った事のない食材などで料理する特別講習企画や、選択授業では、本格的な精進料理(胡麻豆腐・擬製豆腐等々)や懐石料理も担当して頂いております。



授業で指導する小林克巳先生



夏休み特別研修-柳橋市場で食材の見分け方・選び方の指導

★ 名古屋製菓専門学校

2014年技能五輪金賞受賞! ブラジル世界大会出場決定! その他銀・銅賞出場者全員受賞!

2014技能五輪全国大会洋菓子部門で洋菓子科の伊藤美緒さんが金賞(第1位)を受賞しました。伊藤さんは2015年のブラジル技能五輪世界大会に出場します。
世界大会に出場するのは本校4度目の快挙です。



2014年技能五輪全国大会 金賞作品

2014ジャパンケーキショー東京 金賞(第1位)受賞! その他銀・銅賞含め、過去最多受賞!

日本最大級のコンテスト「2014ジャパンケーキショー東京」ジュニア・学生の部、約500点の中から見事、金賞(第1位)を受賞しました。
金賞受賞は本校3度目の快挙です。



2014ジャパンケーキショー東京 金賞作品

ibaカップ2015 日本代表に決定!

ドイツパンの世界一を決めるibaカップ2015の日本予選が行われ、卒業生の浅井一浩さんが見事日本代表に選ばれました。
製パン科の卒業生で世界の舞台に立つのは本校初の快挙です。



ibaカップ2015日本予選 日本代表作品

体験入学



一から学生が丁寧に教えます。



生地を練るところから体験できます。

さつまいも掘り 10/22



土の感触を確かめながら、さつまいもを掘りました。手が汚れても、爪の中に土が入っても、気にせず「さつまいも獲得」に意欲をみせる子が多く、とても頼もしく感じました。土の中から顔を出したさつまいもをさらに頑張って掘り出した時の笑顔は本当に嬉しそうです。



自分の力で掘ることはとても大変だったことも、大変だけれど諦めずに頑張ることが大切なことも、頑張った先には嬉しいことが待っていることも、「さつまいも掘り」から学んだ日となりました。

焼き芋パーティー 11/14



焼き芋パーティーを園庭で行いました。さつまいもは、水で濡らした新聞紙で包み、さらにアルミ箔で包んで準備しておきます。園庭では、山で集めた枯れ枝を燃やしてオキを作り、そこへ準備しておいたさつまいもを投入します。

焼き上がるまでの間は、ロバート先生と一緒に英語の歌を歌ったり、運動会で発表した学年ごとのリズムを楽しんだり歌や踊りで盛り上がりました。

焼きたて、ホカホカの焼き芋は本当に甘くて美味しかったので、幸せそうな笑顔がいっぱいのひとときでした。

自然の恵みに感謝する日でもある「焼き芋パーティー」。食欲の秋には欠かせない恒例行事です。



交通安全教育 11/17

愛知県交通安全教育ボランティアの皆さんが誕生会に来てくれました。園児たちは、交通安全をテーマにしたマジックを楽しみました。

マジックの楽しさと一緒に交通安全について知ることができた良い機会となりました。



避難訓練・消防車見学 11/19

火災発生を想定し、避難訓練を行いました。この日は瀬戸市の消防署より消防士の方々に来ていただき、防災のお話も聴きました。実際に消防車や放水の様子を見たり、消火器の使い方を指導していただいたりと、みんなで防火について考えることができました。万一に備え、今後も継続していきたいと思います。



同窓会 12/6



昨年度に菱野幼稚園を卒園した小学校1年生を園に招いて「同窓会」を行いました。久しぶりに会えたことを喜び合う姿があちらこちらで見られました。同じ時を過ごした仲間たちです。またどこかで出会えることを楽しみに、ますます成長してほしいと思います。



名古屋製菓専門学校で「ケーキ教室」開催(母の会) 12/11



毎年、名古屋製菓専門学校の皆様のご厚意で園児のお母さん方対象に「ケーキ教室」を開催していただいています。この日は、先着順で受け付けた参加者のお母さんたちが、クリスマスに因んだ「ブッシュ・ド・ノエル」に挑戦してきました。

先生方のご指導で、全員美味しそうなクリスマスケーキを持ち帰ることができました。プロの技を間近で見られる貴重な体験でした。



クリスマス会 12/12



子どもたちが楽しみにしていたクリスマス会。今年も名古屋製菓専門学校の先生と学生の皆さんがクリスマスケーキを持って来てくれました。中には菱野幼稚園卒園の学生さんがいて、嬉しい再会となりました。



ケーキ作りの実演ではみんな興味津々。こんな素敵なプレゼントは本当に特別なことと、深く感謝しています。

美味しいクリスマスケーキとサンタさんからのプレゼント。この幸せな気持ちを大切にしたいものです。



マスコミで見る学園各校の出来事

2014年7月1日 >> 2014年12月31日

日付・媒体	所属*	記事内容等	日付・媒体	所属*	記事内容等
7月3日 日本経済新聞	外大	全国の7外大、「全国外大連合憲章」締結	10月29日 中日新聞	外大	「中国語のスピーチ高校生ら50人披露～日進でコンテスト」 ＜中国語学科＞
7月4日 朝日新聞(夕刊)	外大	『新カラマツソフの兄弟』第1部発売 ＜亀山郁夫学長＞	10月31日 中日新聞	外大	シンガポール航空での仕事体験 ＜国際教養学科1年生 蟹江朱充さん＞
7月12日 中日新聞	外大	ロシアの若者 名古屋外大訪問 授業や茶道など体験	11月5日 中日新聞(夕刊) 東京新聞(夕刊)	外大	「松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて」 ＜亀山郁夫学長＞
7月15日 中日新聞	学芸大 短大	サービスマーケティングセンター設置	11月10日 フジテレビ	外大	「めざましテレビ」習近平国家主席演説について ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
7月16・28・29日 朝日新聞・毎日新聞(夕刊) 読売新聞・中日新聞(夕刊)	外大	『新カラマツソフの兄弟』発刊 ＜亀山郁夫学長＞	11月16日 中日新聞	学芸大	名古屋学芸大学と日本赤十字愛知県支部が 連携協力協定を結ぶ
7月31日 毎日新聞	外大	「徒党の2大政党はいらない」コメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞	11月22日 中日新聞	外大	「現代国際学部特殊講義」でミュージカル俳優の マテ・カマラス氏が講演 ＜現代国際学部＞
8月1日 赤十字NEWS 第891号	学芸大	献血運動推進全国大会でスピーチ ＜子どもケア学科3年生 後藤麻友さん＞	11月23日 日本経済新聞	外大	「文化一ひとりだけの対話」寄稿 ＜外国語学部 野谷文昭教授＞
8月2日 週刊東洋経済	外大	「地元」「安定」志向で生き残る大学 PUT紹介 ＜亀山郁夫学長＞	11月26日 CBCラジオ	外大 学芸大	「ナガオカ×スクランブルーおひとりさまのグルメ」 アトリウム食堂のメニュー紹介
8月6・7日 中日新聞	外大	大垣北高校の生徒が英語授業や留学生と交流	11月26日 中日新聞	外大	「ワン・ヤング・ワールドサミット」に参加 ＜現代英語学科4年生 川辺実沙紀さん、 3年生 中溝優花さん＞
8月20日 Wedge 9月号	外大	「ロシア人のメンタリティを知る」 ＜亀山郁夫学長＞	11月26日 中日新聞	製菓校	「あすの匠 技能五輪ー創造力 アメに込める」 ＜製菓専門学校 西脇杏菜さん＞
8月27・28日 中日新聞	外大	「観光振興 学生とタッグー名外大と三重・菟野町が協定」	11月29日 中日新聞・愛三時報・ 三河新聞	学芸大	『教師のライフコースと力量形成 教師道の探求』を出版 ＜子どもケア学科 安井克彦教授＞
8月28日 中日新聞	学芸大	中国語で名古屋観光マップ作り ＜デザイン学科3年生＞	11月30日 中日新聞	外大	「学生通訳コンテスト」開催 ＜現代国際学部＞
9月1日 カレッジ マネジメント 188号	外大	TOP INTERVIEW ＜亀山郁夫学長＞	12月4日 中日新聞	外大	「唐突選挙 迷う一票」投票率についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
9月13日 日本経済新聞	外大	「中部 ひと模様ー途上国の女性支援20年」 ＜国際教養学科 佐藤都喜子教授＞	12月5日 中日新聞	外大	衆院選 選挙ポスターについてコメント ＜国際教養学科 横山陽二准教授＞
9月13日 NHK総合	学芸大	「きんさんぎんさん 100歳の時間」で長寿についてコメント ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞	12月9日 テレビ朝日	学芸大	「たけしのおんなの家庭の医学」にて サルコペニア肥満についてコメント ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
9月15日 中日新聞	学芸大	「食の安全・安心タウンミーティング」開催 ＜健康・栄養研究所＞	12月10日 東海テレビ	外大	「スーパーニュース」 NPO「ドットジェイビー」の活動について ＜国際教養学科2年生 安部里緒奈さん＞
9月19日 中日新聞	外大	「スコットランド独立投票」についてコメント ＜英米語学科 プライアン・ガラカー講師＞	12月10日 大学ジャーナル 12月号	外大	「ポストグローバル時代に向けて」 法政大学 下斗米教授と対談 ＜亀山郁夫学長＞
9月19日 中日新聞(夕刊)	外大	「初の小説に挑戦してー人生を学び直す契機」 ＜亀山郁夫学長＞	12月11日 中日新聞	学芸大	全映協グランプリ2014で最優秀賞の文部科学大臣賞を受賞 ＜映像メディア学科4年生 栗城雪菜さん＞
9月20日 中日新聞	学芸大	「通風筒」中川運河での映像アート作品の演出 ＜映像メディア学科 伏木啓講師、 デザイン学科 井垣理史講師＞	12月12日 中日新聞	外大	「7区有権者 景気どう見る」でコメント ＜英米語学科4年生 松岡辰徳さん＞
9月21日 朝日新聞	学芸大	ウズラの卵の栄養価についてコメント ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞	12月13・20・27日 BSフジ	製菓校	「一滴の向こう側」技能五輪について ＜製菓専門学校 伊藤美緒さん、久米剛史さん、 西脇杏菜さん、中川加帆里さん＞
9月27日 毎日新聞	外大	7大学連携学長記念講座 「ドストエフスキー小説の魅力を解説」 ＜亀山郁夫学長＞	12月16日 中日新聞	製菓校	技能五輪全国大会で金・銀・銅の各賞を受賞 ＜製菓専門学校 伊藤美緒さん、久米剛史さん、 西脇杏菜さん、中川加帆里さん＞
10月2日 中日新聞	外大	「どうなる消費税10%」にコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞	12月19日 中日新聞	学芸大	「色彩検定 ネット学習で効果」 ＜ファッション造形学科 石原久代教授ゼミ＞
10月18日 中京テレビ	学芸大	「キャッチ!すこやかフェスタSPECIAL」で 母親の子育ての悩みインタビュー ＜子どもケアセンター＞	12月21日 NHK	外大	「日曜討論」衆院選について ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
10月20日 11月3日 朝日新聞	外大	「3対1の超少人数授業PUT」紹介	12月21・22日 日本経済新聞・ 朝日新聞・中日新聞	学芸大	交通安全反射材ファッションショー開催 ＜ファッション造形学科＞
10月22日 中日新聞	外大	「ハロウィーンテーマに仮装～日進、留学生と交流」	12月22日 中日新聞(夕刊)	外大	「街角新風ーサンタクロースの思い出」 ＜日本語学科1年生 高井桂奈さん＞
10月26日 中日新聞	学芸大	高校ファッションデザインコンテスト表彰式 ＜ファッション造形学科＞	12月27日 聖教新聞	外大	「読書ー印象に残った3冊」 ＜亀山郁夫学長＞

※この他にも学園各校は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌をはじめとする多数のメディアで取り上げられています。

日進キャンパス専用バスの外装が変わりました

日進キャンパスと地下鉄東山線「上社」駅、地下鉄名城線(名鉄豊田線)「赤池」駅を結ぶ専用バスの外装がリニューアルされました。日進学舎に移転して以来、2度目の変更ですが、30年近く親しまれてきたブルーとアイボリーのリーフ模様からピュアホワイトを基調に、大学の名称ロゴをあしらった明るい色彩のボディです。

このリニューアルは、一般貸切旅客自動車運送事業に係る取扱基準の一部変更を受けて、これまで専用バスの運行業務を委託してきた会社を変更したことを契機に新車8台のバスが導入されたことを受け、その新車両を対象に変更したものです。今は約半数がこれまで通りの外装ですが、今後、専用バスのリプレースが行われるたびに新外装が変わっていきます。

日進キャンパスの新たな顔となり、新委託会社の新鮮な業務姿勢と合わせて、通学、通勤がより快適なものとなれば幸いです。



訃報

前名古屋外国語大学長 水谷修先生が2014年12月20日、病気のためご逝去されました(満82歳)。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、先生のご冥福をお祈り申し上げます。

水谷先生は、1998年4月に本学大学院国際コミュニケーション研究科教授に就任、同年から2002年3月まで同研究科長、2014年3月まで同国際コミュニケーション研究所長を兼任されました。この間、2002年4月から2013年3月までの11年間にわたり本学学長並びに学園理事・評議員として、現代国際学部や外国語学部英語教育学科の設置等に尽力されるとともに、教育の質の向上、教育研究環境の拡充整備等、本学の発展充実に多大な貢献をされ、2014年3月国際コミュニ

ケーション研究所長を最後に退任されました。また、先生は、日本語教育学会、日本語政策学会、日本語教育振興協会の会長など要職を歴任、NHK放送用語委員会委員、文化庁国語審議会委員を務めるなど、日本語教育の発展に大きく寄与され、日本語研究に顕著な業績をあげ、さらに外国人に対する日本語教育の普及を通じ、日本語及び日本人に対する国際理解を深めてこられました。日本語能力試験の創設等日本語教育の国際的普及と適正化に努め2001年外務大臣表彰を受賞、永年の教育研究功勞により2004年瑞宝中綬章を受章されました。2006年には中国西安交通大学から名誉教授の称号を授与されました。

【水谷修先生略歴】

- 1932年12月11日生まれ、名古屋市出身
- 1956年 名古屋大学教育学部卒業
- 千葉大学、スタンフォード大学日本研究センター、アメリカ・カナダ十二大学連合日本研究センター等を経て、
- 1976年 国立国語研究所日本語教育センター日本語教育研究室長
- 1980年 名古屋大学総合言語センター教授
- 1988年 国立国語研究所日本語教育センター長
- 1990年 国立国語研究所長
- 1998年4月 名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科教授、同大学院国際コミュニケーション研究科長(2002年3月まで)、同国際コミュニケーション研究所長(2014年3月まで)
- 2002年4月 名古屋外国語大学学長(2013年3月まで)
- 2014年3月 名古屋外国語大学退任
- 2014年4月 名古屋外国語大学名誉教授

名古屋外国語大学

2期授業終了 …… 2015年 1月 19日㊦
 学生春期休暇 …… 2015年 1月 27日㊦～3月31日㊦
 卒業式 …… 2015年 3月 22日㊦
 新学期ガイダンス(在校生対象)
 …… 2015年 3月 24日㊦～3月26日㊦
 2015年度入学式 …… 2015年 4月 1日㊦

名古屋外国語大学大学院

2期授業終了 …… 2015年 1月 9日㊦
 学生春期休暇 …… 2015年 1月 24日㊦～3月31日㊦
 修了式 …… 2015年 3月 22日㊦
 2015年度入学式 …… 2015年 4月 1日㊦

名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部

後期授業終了 …… 2015年 1月 24日㊦
 学位記授与式 …… 2015年 3月 20日㊦
 2015年度入学式 …… 2015年 4月 3日㊦

名古屋学芸大学大学院

後期授業終了 …… 2015年 1月 24日㊦
 学位記授与式 …… 2015年 3月 20日㊦
 2015年度入学式 …… 2015年 4月 3日㊦

NSC

NSC合同卒業式 …… 2015年 3月 18日㊦
 2015年度NSC合同入学式 …… 2015年 4月 7日㊦

名古屋ファッション専門学校

学生春期休暇 …… 2015年 3月 24日㊦～4月6日㊦

名古屋総合デザイン専門学校

学生春期休暇 …… 2015年 2月 26日㊦～4月6日㊦

名古屋栄養専門学校

学生春期休暇 …… 2015年 3月 19日㊦～4月6日㊦

名古屋製菓専門学校

学生春期休暇 …… 2015年 3月 16日㊦～4月6日㊦

菱野幼稚園

3学期始業式 …… 2015年 1月 7日㊦
 遊戯会 …… 2015年 2月 5日㊦～2月10日㊦
 卒園式 …… 2015年 3月 18日㊦
 修了式 …… 2015年 3月 24日㊦
 2015年度始業式 …… 2015年 4月 6日㊦
 2015年度入園式 …… 2015年 4月 9日㊦

表紙の言葉

今回の表紙のデザインは、2014年度の名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科の卒業制作作品の中で伊藤明菜さんの作品を使用しました。

“Bibliophilia”椅子と本箱を組み合わせた作品で、木目と流れるような曲線が美しい作品です。

名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科
小谷恭二

編集後記

今号の巻頭特集には、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部創設10周年を記念して、茨城県美浦村教育長の門脇厚司先生と釜賀子どもケア学科長、安井教授(元愛知県吉良町教育長)による鼎談を企画しました。門脇先生は「人と人がつながる力」「社会をつくっていく力」としての「社会力」の意味と重要性を示し、地域社会での実践を訴えておられます。ヒューマンケア学部では、「…人間愛に満ちた子どもの生活環境づくり等実践活動が行える人材の養成」を掲げており、門脇先生のお考えと相通するものがあるのではないのでしょうか？

是非、本文から「社会力」「人間教育と実学」の理念を読み取っていただきたいと思います。



学校法人 中西学園

名古屋外国語大学・大学院

〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL:0561-74-1111 FAX:0561-75-1723 <http://www.nufs.ac.jp/>

名古屋学芸大学・大学院

〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL:0561-75-7111 FAX:0561-73-8539 <http://www.nuas.ac.jp/>

名古屋学芸大学短期大学部

〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL:0561-75-7111 FAX:0561-73-8539 <http://www.nuas.ac.jp/>

NSC

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目9番6号 <http://www.nsc.ac.jp/>

■名古屋ファッション専門学校
TEL:052-241-7381
FAX:052-242-2746

■名古屋栄養専門学校
TEL:052-251-7392
FAX:052-265-0502

■名古屋総合デザイン専門学校
TEL:052-261-8944
FAX:052-243-3976

■名古屋製菓専門学校
TEL:052-265-0509
FAX:052-265-0719

菱野幼稚園

〒489-0886 瀬戸市萩山台七丁目13番1号
TEL:0561-83-3651 FAX:0561-83-1913
<http://www.hishino.ed.jp/>

■発行所 学校法人中西学園

〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL:0561-74-1111
<http://www.nakanishi.ac.jp/>

■発行者 中西学園報編集委員会